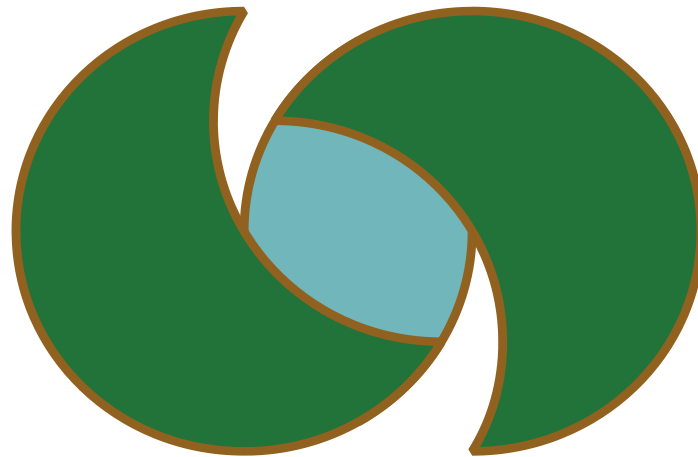


第6次総合計画行政評価

令和3年度【施策評価】検証

ver.3



長野県 池田町

目 次

目次	…	2
評価検証結果	…	3

◆基本目標1 環境に係る施策

(1) 自然環境の保全活用、美しい景観づくり	…	4
(2) 治山・治水・利水の推進	…	5
(3) 環境衛生の向上、資源循環の推進	…	6
(4) 公園緑地の整備活用	…	7

◆基本目標2 子育て支援・教育に係る施策

(1) 子育て支援、青少年健全育成	…	8
(2) 保育、幼児・学校教育の充実	…	10
(3) 生涯学習のまちづくり	…	12
(4) 生涯スポーツの推進	…	13
(5) 交流の拡充	…	14

◆基本目標3 生活基盤の整備・移住定住に係る施策

(1) 道路の整備	…	15
(2) 住宅対策の推進	…	16
(3) 上下水道の整備	…	17
(4) 交通の整備	…	18
(5) 移住定住の促進	…	19

◆基本目標4 産業に係る施策

(1) 農業の振興・森林の保全活用	…	20
(2) 商業の振興	…	21
(3) 工業の振興	…	22
(4) 観光の振興	…	23
(5) 6次産業化の推進	…	24
(6) 雇用と労働	…	25

◆基本目標5 福祉と人権に係る施策

(1) 住民福祉の向上	…	26
(2) 保健・医療	…	27
(3) 人権の尊重・男女共同参画の推進	…	28

◆基本目標6 消防・防災・防犯、行政運営に係る施策

(1) 消防・防災・防犯体制の整備	…	29
(2) 開かれた町政と協働のまちづくり	…	30
(3) 財政の健全化	…	31
(4) 行政の効率化・地域情報化の推進	…	32
(5) 行政の広域化	…	33

令和3年度事業 評価検証結果

基本目標	施策番号	施策項目	達成度			
			R3目標に対するR3実績	平均	R5目標に対するR3実績	平均
1 環境に係る施策	1-1	(1)自然環境の保全活用、美しい景観づくり	83%	69%	76%	67%
	1-2	(2)治山・治水・利水の推進	100%		100%	
	1-3	(3)環境衛生の向上、資源循環の推進	92%		91%	
	1-4	(4)公園緑地の整備活用	0%		0%	
2 子育て支援・教育に係る施策	2-1	(1)子育て支援・青少年健全育成	71%	81%	68%	70%
	2-2	(2)保育、幼児・学校教育の充実	100%		100%	
	2-3	(3)生涯学習のまちづくり	83%		67%	
	2-4	(4)生涯スポーツの推進	100%		90%	
	2-5	(5)交流の拡充	50%		25%	
3 生活基盤の整備・移住定住に係る施策	3-1	(1)道路の整備	100%	91%	99%	88%
	3-2	(2)住宅対策の推進	72%		62%	
	3-3	(3)上下水道の整備	100%		100%	
	3-4	(4)交通の整備	100%		100%	
	3-5	(5)移住定住の促進	83%		79%	
4 産業に係る施策	4-1	(1)農業の振興・森林の保全活用	67%	68%	47%	54%
	4-2	(2)商業の振興	100%		100%	
	4-3	(3)工業の振興	75%		67%	
	4-4	(4)観光の振興	61%		54%	
	4-5	(5)6次産業化の推進	80%		40%	
	4-6	(6)雇用と労働	27%		16%	
5 福祉と人権に係る施策	5-1	(1)住民福祉の向上	100%	86%	93%	83%
	5-2	(2)保健予防・医療の充実	91%		89%	
	5-3	(3)人権の尊重・男女共同参画の推進	67%		67%	
6 消防・防災・防犯、行政運営に係る施策	6-1	(1)消防・防災・防犯体制の整備	71%	87%	42%	80%
	6-2	(2)開かれた町政と協働のまちづくり	70%		68%	
	6-3	(3)財政の健全化	96%		96%	
	6-4	(4)行政の効率化・地域情報化の推進	98%		95%	
	6-5	(5)行政の広域化	100%		100%	
平均				80%		74%
統計	評価		件数			
	90%超過～100%		13件	1件	11件	0件
	70%超過～90%以下		8件	3件	4件	3件
	50%超過～70%以下		4件	2件	7件	3件
	50%以下		3件	0件	6件	0件

令和3年度 基本施策評価シート 1-1

施策分野	1 環境に係る施策	基本施策名	(1) 自然環境の保全活用、美しい景観づくり
------	-----------	-------	------------------------

R3目標達成度 平均	R5目標達成度 平均
83%	76%

1 令和3年度主要施策の取り組み内容、状況

(1) 美しいまちづくりへの取り組み

主な取り組み	対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1 美しいまちづくり行動デーの継続実施(県道沿線除草)8月7日、10月2日各 約150人参加	①	2回	環境係
2 個人、団体、自治会への「花とハーブの里づくり推進事業補助金」を継続実施	③	申請件数46件	農政係
3 農村環境保全に取組む地区農地・水保全会に「多面的機能支払交付金」を継続実施	⑤	16組織	耕地林務係

(2) 自然環境保全活用への取り組み

主な取り組み	対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1 住宅用太陽光発電システム設置費用補助金の継続実施	①	申請数9件	環境係
2 特定外来植物の駆除を呼びかける記事を広報いけだに掲載	②	1回	環境係
3 防犯灯のLED化の継続実施	③	52基	環境係

2 成果指標状況

指標	R1年度	R2年度	①R3年度	②R3年度	R4年度	③R5年度	目標達成度(実績/目標)		R3予算削減		令和3年度実績値詳細	担当	備考
	実績値			目標値			①/②	①/③	有無	影響度			
1 若者・子育て世代の「自然の豊かさ、景色の美しさ」に対する満足度	-	-	-	-	-	90%	評価なし	評価なし	無	-	当該満足度は2015年の「人口ビジョン総合戦略策定アンケート」を基にしている。次回は令和5年度に調査予定。	企画係	若者・子育て世代アンケート結果【戦略】
2 花・ハーブなどによる新規の植栽活動・事業の件数	0件	延7件	延21件	延1件	延1件	1件	100%	100%	有	無	花とハーブの里づくり事業補助金 新規申請者数 14件	農政係	5年間合計【戦略】
3 池田町の土地利用及び開発指導に関する条例に反する開発事業	0件	0件	0件	0件	0件	0件	100%	100%	無	-	ルールに反した案件は無く、土地利用制度のルールに沿って開発事業が進められている。	企画係	5年間合計【戦略】
4 住宅用太陽光発電システム設置費補助交付件数	12件	延20件	延29件	延60件	延80件	100件	48%	29%	有	有(小)	9件の申請に対し補助を行い、うち7件は補助額上限の8万円に達した。	環境係	5年間合計

3 取り組み結果、課題

美しいまちづくり行動デーが住民に徐々に定着するとともに、地域で組織されている農地水保全会では、農村環境保全のための草刈り(全16組織)が行われるなど、住民が主体となった美しいまちづくりの活動が広がってきている。花とハーブの里づくり事業補助金では、14件の申請があり各家庭・団体で植栽活動を実施。池田町ハーブセンターハーブガーデンでは、有志による植栽が行われている。また、池田町の土地利用及び開発指導に関する条例については的確に運用され、景観形成に一定の効果を出している。

自然環境保全の取り組みでは、再生可能エネルギー利用推進として、住宅用太陽光発電システム設置補助金を交付し、9件の導入があったが、予算の範囲内での補助となり9月下旬には申請締切となった。

4 今後の方向性

池田町土地利用調整計画は、令和2年度に第2期計画(令和3年10月から10年間)を策定し令和3年度から運用予定。

自然環境保全のため、個人及び自治会に特定外来植物の駆除を呼びかけ、地区の活動組織に対しても農村環境保全に向けた幅広い活動が行われるよう、啓発、助言を行い、生息地域拡大を阻止する。また、再生可能エネルギー普及のため、既存の施策の充実と新たな施策の検討を進める。

花づくりによる美しいまちづくりについては花壇等の適正な維持管理のため、自主的かつ継続的に活動できる者を育成・支援していく。

令和3年度 基本施策評価シート 1-2

施策分野	1 環境に係る施策	基本施策名	(2) 治山・治水・利水の推進
------	-----------	-------	-----------------

R3目標達成度 平均	R5目標達成度 平均
100%	100%

1 令和3年度主要施策の取り組み内容、状況

(1) 治山事業

主な取り組み	対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1 治山事業の導入・実施を県へ要望	①	年1回	耕地林務係・緊急を要するものは随時
2 治山事業に係る地元自治会との懇談会	①	1回	耕地林務係
3 砂防事業、地すべり対策事業、急傾斜地崩壊対策について県へ要望	③	通年	建設係

(2) 治水事業

主な取り組み	対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1 多面的機能支払交付金により施設の長寿命化に向けた取組が活動組織により実施された	①	16組織	耕地林務係
2 土地改良施設維持管理適正化事業により、水門、水路の改修を実施した	①②③	水門補修4地区	耕地林務係
3 県単農業農村基盤整備事業により、水門、水路の改修を実施した	①②③	転落防止柵L=370m	耕地林務係
4 内鎌地区の水路工事実施	③	1箇所	建設係

(3) 利水事業

主な取り組み	対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1 多面的機能支払交付金により施設の長寿命化に向けた取組が活動組織により実施された	①	16組織	耕地林務係
2 池田町土地改良区による水路の維持及び水利調整により安定した水利を確保することができた	①	通年	耕地林務係

2 成果指標状況

指標	R1年度	R2年度	①R3年度	②R3年度	R4年度	③R5年度	目標達成度(実績/目標)		R3予算削減		令和3年度実績値詳細	担当	備考
	実績値				目標値		①/②	①/③	有無	影響度			
1 東山森林整備面積	0ha	延16.29ha	延25.74ha	延19.29ha	延20ha	20ha	100%	100%	無	—	大峰高原 枝打ち:5.3ha 枯損木除去:0.04ha 東山地区 間伐:3.89ha 竹林整備:0.22ha	耕地林務係	5年間に森林整備協議会が整備を行った面積

3 取り組み結果、課題

・治山事業について、砂防事業、地すべり対策事業、急傾斜地崩壊対策事業を実施し、住民の安全・安心が向上された。しかし保全対象が乏しいため、事業化に至らない箇所もある。
・治水・利水について、個別施設計画策定により補助事業導入による改修が可能となるが、計画に位置付けされない支線水路については対象とならないため、多面的機能支払交付金により、各活動組織での改修が必要となる洪田見地区水路修繕を実施し、住民の安心・安全が向上された。しかし、予算に限りがあり、全町的には実施箇所が多数あるため事業実施までに時間を要す。

4 今後の方向性

各地区の活動組織(多面的機能支払交付金、森林整備協議会)と連携し、課題解決のための取組を引き続き推進していきたい。

令和3年度 基本施策評価シート 1-3

施策分野	1 環境に係る施策	基本施策名	(3)環境衛生の向上、資源循環の推進
------	-----------	-------	--------------------

1 令和3年度主要施策の取り組み内容、状況

(1)環境衛生向上全般

主な取り組み		対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1	生ごみ処理機設置補助金の継続実施	①	補助件数 13件	環境係
2	ごみ削減の啓発記事を広報いけだに掲載	①	12回	環境係
3	せん定枝チップ化事業	①	年2回	環境係
4	プリンターインクカートリッジ回収	①	3か所	環境係
5	不法投棄監視連絡員によるパトロールの継続実施	②	月2回	環境係
6	農業用廃プラスチックを農家から回収し処理	③	3,695Kg	農政係

2 成果指標状況

指標		R1年度	R2年度	①R3年度	②R3年度	R4年度	③R5年度	目標達成度(実績/目標)		R3予算削減		令和3年度実績値詳細	担当	備考
		実績値			目標値			①/②	①/③	有無	影響度			
1	一般廃棄物年間総排出量	3,011トン	2,908トン	2,908トン (R2仮数値)	2,850トン	2,800トン	2,800トン	評価なし	評価なし	無	—	排出量の確定が10月のため令和3年度実績は未定	環境係	—
2	一人当たり燃えるごみ排出量	142.6kg	143.8kg	146.9Kg	136Kg	135Kg	135kg	92%	91%	無	—	前年比2.2%増加。新型コロナウイルス感染症の影響により、在宅時間の増加や食事のテイクアウトが増えたため、可燃ごみの増加につながったと考えられる。	環境係	—

3 取り組み結果、課題

13件の生ごみ処理機設置補助を行い、14基が設置された。補助金をより利用しやすくするため、R3から申請手続きを簡素化した。また、広報いけだに毎月ごみ削減記事を掲載し、啓発に努めたが、1人当たりの可燃ごみの排出量は前年比で2.2%の増加となったため、削減に向けた施策をさらに検討する必要がある。
公共施設でのインクカートリッジ回収を継続実施するなど、ゼロカーボンに向けた取り組みも行った。
不法投棄物は小・中規模のものが数件発見され、担当者が対応して撤去した。

4 今後の方向性

引き続きリサイクル推進委員会を開催し、燃えるごみ削減やゼロカーボン実現のための具体的施策の検討を行う。また、もえるごみ削減に向けた2大重点アクションとして、「生ごみは水を絞って軽量化」「紙ごみはエコ資源。燃やさず分別！リサイクル！」を各家庭に浸透させ減量に取り組むとともに、生ごみ処理機の導入促進を図っていく。不法投棄の対策については、引き続き監視施策を実施していく。
【R5開始に向けた取り組み】
①「プラスチック資源循環促進法」の施行(R4.4月)に伴い、従来もえるごみとしていた「プラスチック使用製品」を分別収集しリサイクルを行う予定。
②サントリー信濃の森工場(大町市)と提携し、CO2削減や循環型社会実現に向けペットボトルの水平リサイクルに取り組む予定。

令和3年度 基本施策評価シート 1-4

施策分野	1 環境に係る施策	基本施策名	(4) 公園緑地の整備活用
------	-----------	-------	---------------

R3目標達成度 平均	R5目標達成度 平均
0%	0%

1 令和3年度主要施策の取り組み内容、状況

(1) 公園緑地整備

主な取り組み	対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1 林の中ふれあい広場、高瀬橋東ラベンダー園、東山夢の郷公園の管理	②	適宜	建設係
2 クラフトパーク、かえで広場の管理。	②	適宜	公園・スポーツ係
3 てるてる広場の管理(2,019㎡、芝生張、トイレ、駐輪場、身障者用駐車場4区画、照明灯5基、水飲み場1基)	②	適宜	文化財保護推進室
4 児童公園6か所、遊具12基を令和2年点検で全てB判定で利用可。3年ごとに点検する。次回点検は令和5年度予定。判定でC又はD判定の場合は地元自治会と協議し修繕又は撤去を行う。	③	0回	福祉係
5 外来種ブタナの除草ボランティア活動募集の実施	④	2回	公園・スポーツ係

(2) 施設有効活用

主な取り組み	対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1 野外コンサートの実施	①	2回	公園・スポーツ係

2 成果指標状況

指標	R1年度	R2年度	①R3年度	②R3年度	R4年度	③R5年度	目標達成度(実績/目標)		R3予算削減		令和3年度実績値詳細	担当	備考
	実績値			目標値			①/②	①/③	有無	影響度			
1 スケッチおよび美術館鑑賞を目的とする団体客の誘致	年間1団体	年間0団体	0団体	年間1団体	年間2団体	3団体	0%	0%	無	—	コロナウィルス感染症の影響により団体の受け入れはキャンセルとなった。	公園・スポーツ係	—
2 新たな観光事業実施	年間2事業	年間0事業	0	年間2事業	年間2事業	年間2事業	0%	0%	無	—	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、定着しつつあった旅行会社とのツアー造成商品が中止となった。	観光商工係	—

3 取り組み結果、課題

・クラフトパーク内設備の老朽化が進んでいるため、(南側駐車場トイレ、地下電気ケーブル、遊具、水銀灯、屋外ステージ等)の修繕や更新が必要。
・クラフトパーク公園緑地管理はシルバー人材センターに委託しているが、高齢化により作業指示を出すリーダー的役割やトラクター、芝刈り機等の重機操作できる人材不足が課題。

4 今後の方向性

・新規に整備された公園(かえで広場、てるてる広場)の有効活用とともに、既存の公園施設の設備更新を計画的に行っていく。
・クラフトパークの公園緑地管理について委託先の継続的な確保を模索する。
・児童遊園の遊具点検でC以上により修繕判定D緊急修繕判定が出た場合には、修繕せず撤去し、新たにその場所に遊具の設置をせず、町内数か所にまとめて設置を検討。かえで広場遊具・あずまや設置計画を進める。

令和3年度 基本施策評価シート 2-1

施策分野	2 子育て支援・教育に係る施策	基本施策名	(1)子育て支援・青少年健全育成
------	-----------------	-------	------------------

R3目標達成度 平均	R5目標達成度 平均
71%	68%

1 令和3年度主要施策の取り組み内容、状況

(1)出会いから結婚までの支援

主な取り組み	対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1 新入社員歓迎会 新型コロナウイルス感染症対策のため未実施	①	0	商工観光係
2 [若者交流]「ヤングパワーバンク」による若者交流イベントを引き続き実施した。	①	7回	生涯学習係

(2)子育て支援全般、青少年健全育成

主な取り組み	対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
8 児童センター運営及び、放課後児童クラブ・放課後子ども教室実施による、児童健全育成。 新型コロナウイルス感染防止のための学校臨時休校に伴う児童クラブ一日開館の実施(R2.3.4～R2.5.23 臨時一日開館合計65日) 普段とは違う一日開館の中で、新型コロナウイルス感染防止に配慮し、安全に過ごす事が出来るよう努めた。 開催回数未就園児親子利用21回、児童クラブ289回、放課後子ども教室58回	⑧	開催回数計 368回	児童センター
9 青色防犯パトロール車による町内の見回り実施	⑨	108回	環境係
10 小学生下校の時間帯に合わせ、防災行政無線で小学生自身が地域の方へ見守りを願っている放送を行い、町全体で子どもを見守る意識を育てる啓発を行った。(学校登校期間中毎週月・水曜日)	⑨	週2回	学校保育係
11 地域の自然、歴史の情報を、学習活動に活かしていただくため、新任転任教職員に町職員希望者を加えて研修会実施	⑩	3校×1回	学校保育係
12 ふるさと学習 A土曜ふるさとクラブ 地域ボランティアの方を講師に小中学生親子対象に通年土曜日に講座を開き、地域の方との結びつきを強め体験活動により豊かな人間性を育てよう努めた。 B 米作り 営農支援センター、農業委員、地域の方の支援により両小学校で米作りの体験を行い、稲作の知識を深め、食育、郷土愛を育てる機会とした。	⑩	A10講座親子参加者 151人 B小学校×2校	学校保育係
13 「安全なメディア利用を考える日」を設定し、次の願いを小中学校PTAから家庭に呼びかけ意識啓発を行った。 1 メディアやネットの適切な使用方法について、家庭で考え確認する機会とする。 2 安全にメディアを使うことの良さや楽しみについて、家庭で体験や共有する機会とする。 3 メディア以外にも目を向け、家族で触れ合い豊かな時間を過ごす機会とする。	⑪	3回×3校	学校保育係
14 [青少年健全育成]青少年の非行・被害防止全国強調月間の7月に、啓発物品の配布を実施	⑪	1ヶ月間	生涯学習係
15 [子ども読書活動推進]セカンドブック事業 ・小学校1年生に、リストの中から1冊を選んでいただき、セカンドブックとしてプレゼントをした。親子で本について話をするきっかけ作りとし、家庭読書の推進を図った。 対象児童 池田小36名、会染小35名	⑬	小学校×2校	学校保育係
16 [子ども読書活動推進]町図書館での読み聞かせやブックスタート支援事業を行い(親子に絵本プレゼント)、本に親しむ機会を設けた。	⑬	年3回 23人	生涯学習係 健康増進係
17 [学生応援臨時給付金]新型コロナの影響を受けている大学生等の生活を応援するため一時金を支給した。1万円×168人＝168万円。	①	168人	保険医療係
18 認定こども園病後児保育 池田保育園に病後児保育室を設け看護師1名を配置し、子育て支援を図った。	②	看護師1名 雇用	学校保育係

(2)子育て支援全般、青少年健全育成

主な取り組み	対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1 不妊・不育症治療助成 2人 (内、妊娠:1人)	①	2人	健康増進係
2 ・出産祝い金支給 出産祝い金 2万円×26名(1名祝金辞退)	①	26名	住民係
3 町認定こども園に通う3～5歳までの子どもの副食費(おかず・おやつ等)の費用は保護者負担とすべき所、(一定の要件を満たしていれば減免対象となり国庫補助支給となる)免除とした。(約8,532千円)	①	約158人対象	学校保育係
4 入学祝い金 小中学校へ入学する児童生徒の保護者へ支給 支給額 小学校入学5万円×72人 中学校入学3万円×66人	①	138人	学校保育係
5 給食費補助 小学生25,800円×約412人分、中学生26,600円×約217人分	①	約629人	学校保育係
6 子どもや子育てに関する相談対応及び支援	②③	延521回	多世代相談センター
7 乳幼児健診・育児学習会、離乳食教室時の学習	⑥	59回 延べ387人	健康増進係・ 多世代相談センター他

2 成果指標状況

指標	R1年度	R2年度	①R3年度	②R3年度	R4年度	③R5年度	目標達成度(実績/目標)		R3予算削減		令和3年度実績値詳細	担当	備考
	実績値			目標値			①/②	①/③	有無	影響度			
1 婚姻率(人口千人あたりの婚姻件数)(人口動態統計・毎月人口異動調査)	4.46‰	2.7‰	2.85‰	3.9‰	4.1‰	4.3‰	 73%	 66%	無	—	【婚姻率(‰)＝年間婚姻届出件数27件／10月1日現在人口9,480人×1,000】 婚姻率は不確定要素により変動する。令和2年度に続き新型コロナウイルスの影響により、出会いの場の減少や収入減、結婚を先延ばしにする等の要因が考えられる。	企画係	【包括戦略】
2 合計特殊出生率	未発表	未発表	未発表	1.47	1.49	1.5	評価なし	評価なし	無	—	合計特殊出生率の市町村別値は、平成20年から平成24年間の数値以降発表されていない。	多世代相談センター	【包括戦略】
3 1年間の出生数	47人	28人	27人	53人	56人	60人	 51%	 45%	有	無	アパート等賃貸住宅は、近隣住宅と比較して戸数が少ない。また、宅地分譲も少ない状況もあり、子育て世代が流出してしまうと推察する。子ども子育てガイドブックの配布は行っている。※毎年バージョンアップしている	多世代相談センター	5年間平均
4 20代、30代の人口の純移動数	14人	△57人	△46人	△33人	△31人	△30人	 61%	 47%	無	—	20代、30代の年度当初と年度末時点の数値 年度当初1,352人→年度末1,306人：△46人 対象年齢の転出が転入を上回った。	移住定住促進係	5年間平均 【包括戦略】
5 男女問わず参加しやすいサークル活動の新規立ち上げ件数	0	延2件	延3件	延2件	延3件	3件	 100%	 100%	有	無	1件の新規活動開始(工作)	生涯学習係	5年間合計 【戦略】
6 若者交流会の開催頻度	22回	10回	6回	6回	6回	年6回以上	 100%	 100%	有	無	「ヤングパワーバンク」による公民館講座「みらい塾」の開催回数。	生涯学習係	【戦略】
7 いけだDIネットを介した成婚者数	0人	延2人	延2人	延4人	延4人	4人	 50%	 50%	有	無	DIネットへの結婚相談件数が伸び悩んでおり、見合いまで至る案件が非常に少ない。(数値は2人＝1組)	企画係	5年間合計 【戦略】
8 若者・子育て世代(既婚の方)の「子育て支援サービス」に対する満足度	—	—	—	—	—	70%	評価なし	評価なし	無	—	当該満足度は2015年の「人口ビジョン・総合戦略策定アンケート」を基にしている。次回は令和5年度に調査予定。	多世代相談センター	若者・子育て世代アンケート結果 【戦略】
9 子どもの関わる事件・事故件数	0件	0件	0件	0件	0件	0件	 100%	 100%	無	—	虐待が重篤事案に発展しないように、また、虐待行為等が早期に発見できるように学校や保育園を中心に関係機関との連携強化に努めた。	多世代相談センター	5年間合計 【戦略】
10 「ふるさとガイド」の育成に資する講座などの開催頻度(教員対象の歴史など講座開催数)	1回	2回	1回	年1回以上	年1回以上	年1回以上	 100%	 100%	無	—	小中学校新任転任教職員を対象に町職員希望者も加え、講座を開催した。八幡神社周辺・文化財展示室・てるてる坊主記念館を見学しながら文化財専門員が説明を行い、有意義な講座となった。(小中学校教職員15名、町職員3名)	学校保育係	【戦略】
11 男女が共に働きやすく、仕事と家庭を両立しやすい職場環境づくりに取り組む企業の広報などでの紹介頻度	0回	0回	0回	1回	1回	年1回以上	0%	0%	無	—	未実施 男女共同参画、女性の活躍支援について引き続き取り組んでいるが、子育て支援に関係する取り組みをしている企業の情報収集、広報までには至っていない。	商工観光係、生涯学習係	【戦略】

3 取り組み結果、課題

1(1)1(主な取り組みの番号 以下同じ。)
 新入社員歓迎会は新型コロナウイルス感染拡大により中止となった。(商工観光係)
 ・(いけだDIネットによるマッチング)地域の精通者を通じた紹介やお見合いを選択する独身者は減少しており、お見合いの設定をすること自体が難しい状況が依然続いている。(企画係)
 ・出生率減少となる要因の一つとして、アパート等賃貸住宅は、近隣住宅と比較して戸数が少ない。また、宅地分譲も少ない状況もあり、子育て世代が流出してしまうと推察する。(多世代相談センター)
 1(2)7 3歳児健診での生活リズムは、7時前に起床する割合は50.0%(R2:70.8%)、7時～7時29分起床を含めると86.1%(R2:95.8%)であった。就寝時間については21時前に就寝できている割合は30.6%(R2:25.0%)、21時～21時29分に就寝を含めると83.3%(R2:77.1%)であった。起床時間は遅くなってきているが、3歳児健診において朝食を食べる割合は100%であった。朝食を食べる習慣が身についている家庭が多いと考えられる。今後は食事の内容が充実できるよう学習が必要だと考える。(健康増進係)
 1(2)8・未就園児親子対象の児童センター事業、地域住民の参画を得て運営していく放課後子ども教室事業について、新型コロナウイルス感染防止の観点から中止、もしくは閉館の措置をとった。
 ・放課後の児童の安心安全な居場所作り、自主性・社会性及び創造性の向上や基本的生活習慣のための育成支援を行った。児童クラブの過密化解消は図られたが、発達に特性がある児童の増により、職員確保が検討課題。当町に放課後等デイサービスの施設が必要と感じる(児童センター)
 1(2)10子どもの下校時、地域の方から見守っていただく体制が十分に出来ていない。(学校保育係)

4 今後の方向性

1(1)1 新入社員歓迎会は令和3年度も新型コロナウイルス感染拡大により中止となった。既に以前のような「若者交流の場」としての役割は見いだせておらず、今後別の方策を考える必要がある(商工観光係)
 ・婚活イベントにおいて、池田町の魅力体験が好評であるため、イベント内容を町の特色とリンクさせることで更なる関係人口創出を図りたい。
 DIネットによるマッチングは現状難しく、現行のお見合い形式の方法から考え直す必要がある。(企画係)
 ・出生率の向上を促す一環として、集合住宅だけに限らず一戸建ての賃貸住宅情報等も早期に得られる関係を不動産業種と構築していく等、民間の活力を使った情報提供支援を強化したい。(多世代相談センター)
 1(2)7乳幼児健診等で子どもの成長発達のために早寝早起きの重要性を今後も学習するとともに、成長を支える食事についても学習を継続する。(健康増進係)
 1(2)8 発達に特性のある児童が年々増え、支援を手厚くする必要がある。放課後等デイサービス事業所の進出を希望する。(児童センター)
 1(2)10地域の方からの見守り体制についてR4年度に活動を始めたコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)において強化したい。(学校保育係)

令和3年度 基本施策評価シート 2-2

施策分野	2 子育て支援・教育に係る施策	基本施策名	(2) 保育、幼児・学校教育の充実
------	-----------------	-------	-------------------

R3目標達成度 平均	R5目標達成度 平均
100%	100%

1 令和3年度主要施策の取り組み内容、状況

(1) 保育・教育施策全般

主な取り組み				対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考	主な取り組み				対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考		
1	保小の切れ目ない接続の推進として県から委託を受け(2年事業2年目)、保小接続カリキュラム部会(5回)を始め研修、協議などを行った。実践モデルとして事例集に記載され、県内全ての幼保小に配布された。				①	接続カリキュラム部会5回他	学校保育係	8	いじめ防止として「セカンドステップ(キレない子どもを作る教育プログラム)」「(小1 各小学校6回)」、「ステップアップ」(年長 各認定こども園6回)、「CAPワーク(子どもを暴力から守る教育プログラム)」「(高瀬中児童生徒、保護者、教職員)」、「CAPカフェ」の実施(未就園児保護者対象 1回)、小中学校で「人権教育」を行った。				⑤	セカンドステップ小学校1年生各6回他	学校保育係
2	会染保育園方向性について、昨年度に続いて信州学びの郷活性化委員会研究部会で検討し、方向性の3案について町民説明会、パブリックコメント等によりご意見を頂き、2案に絞り「最終答申」として報告した。				②	部会5回 町民説明会3回、パブリックコメント実施	学校保育係	9	不登校対策として多世代相談センター、小中学校と連携し対応すると共に、フリースクールと連携し、そこへ通うことを学校への登校として扱うこととする等、児童生徒が多様な学びの場の中で勉強出来るよう図った。				⑤		学校保育係
3	学力向上施策 ・ICT支援員2名を配置し、学校現場における授業でのタブレット端末の活用推進、トラブル解決等に迅速に対応した。また、研修を重ね小中学校教員のICT活用能力の向上をさらに図った。 ・学習障害の児童生徒に対し、学びやすい環境づくりに取り組むとともに、何が苦手なのか適切に把握し、弱い部分についてのトレーニングを進めるよう努めた。				③	ICT支援員 学校巡回月～金他	学校保育係	10	健やかな体づくりの推進、食育推進 ・認定こども園 給食室探検、出汁、魚、行事食及び箸の持ち方等について学ぶとともに、献立表の発行(年2回)給食室だよりで人気レシピや子どもたちの給食の様子等を掲載(年2回)して啓発を行った。小中学校では給食センター栄養士によるビデオ講話(中学校1回)や給食センターでの調理についてビデオによる紹介(各小1回)、給食だよりによる啓発を行った(12回) ・土曜ふるさとクラブの子どもキッチンクラブ、子どもオーガニッククラブによる食育推進				⑥⑧	認定こども園、給食献立に関する便り各12回他	学校保育係 (給食センター)
4	体力向上施策として保育園で運動保育士による運動教室(5回)を、小学校で大かえで倶楽部指導者による長野県版運動プログラムを40回実施した。				③⑥	運動教育、 運動プログラム計45回	学校保育係	11	保小中で一人一人の社会的役割、職業等について学んだり社会見学を行うとともに、中学校で職場体験を行い、「働く」ことの意義を学ぶ。				⑦	高瀬中2年職場体験1回他	学校保育係
5	・特別支援教育研修会の実施(池田保育園、池田小、高瀬中) ・インクルーシブ教育の推進 中信教育事務所特別支援教育専門員を講師に保育園、小中学校管理職研修を行い、今後の特別支援教育の進め方について意識の共有を図った。 ・副学籍による交流及び共同学習 町に住民登録があり特別支援学校に在籍する児童生徒と町立小・中学校児童生徒が、地域で共に学び、共に育ち、仲間意識を育めるよう取り組んだ。				④	研修会4回他	学校保育係	12	保小中で防災について日頃から学ぶと共に、外部講師の講話により知識・意識を高める。				⑧	町危機管理対策室専門員より講話 小学校×2校他	学校保育係、 危機管理対策室
6	教育支援員及びスクールカウンセラーの配置 教育支援員1名については、日常的に医療的ケアを必要とする児童の学校生活の充実を図るため看護師とした。				③④	8名及び4名	学校保育係	13	・園舎周りの田んぼや畑をお借りし、虫探しや畦道探検を行う。草花や生き物に興味を持ち、調べたり育てたりして関心を深めた。 ・年長児が大峰高原へ行き大カエデについて森林組合の方等から話を聞き、山道を探索する。自然について学ぶ良い機会となった。 ・毎日の遊びの中に自然物を取り入れ、木の実や草花でままごとや色水遊び、製作を楽しんだ。				⑨		認定こども園
7	[学習支援]少人数学習 平日毎日 120回 子どもの学び塾支援(教科学習支援、日本語指導支援、理科学習支援) 水曜日他 延141回 [部活動支援]地域の方より中学校部活動の指導及び野球部への部活動指導員配置				③⑤	少人数学習 121回他	学校保育係	14	[民間事業者参入検討]会染保育園方向性を検討する中で可能性として出たが、十分な議論までは出来なかった				⑩		学校保育係
15								15	コロナ交付金を活用し、感染拡大防止の取り組みを実施した。①自動水栓の購入及び取付(小学校97、中学校2、教育会館2、記念館1、保育園19、児童センター13)、②教室の消毒等を支援する人員を配置(小学校5人、中学校3人)、③オンライン授業用電源アダプター購入(755個)				②		学校保育係
16								16	GIGAスクール推進のためICT支援業務を業務委託(委託先 (一社)エンターキー)により実施した				①	月～金各校対応	学校保育係
17								17	教科講師及び部活動指導員の配置(中学校)				①③	3名及び1名	学校保育係

2 成果指標状況

指標		R1年度	R2年度	①R3年度	②R3年度	R4年度	③R5年度	目標達成度(実績/目標)		R3予算削減		令和3年度実績値詳細	担当	備考
		実績値			目標値			①/②	①/③	有無	影響度			
1	認定こども園 待機児童数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	100%	100%	無	—	待機児童は無い。	学校保育係	—
2	朝食を毎日摂る子ども(保育園から中学生)の割合	参考値 99%(保育園のみ)	参考値 99.6%(保育園のみ)	参考値 100%(保育園のみ)	98%	98%	98%(食育推進計画最終年度である2021年度時点)	評価なし	評価なし	無	—	認定こども園では、調査をした3日間について100%であった。小中学校では把握がされてない。	学校保育係	アンケート結果

3 取り組み結果、課題

1(「主な取り組み」の番号 以下同じ。)『実践ガイドブック』を作成し、保小中の全職員に配布して保小中15年プランの理解を図ると共に、信州大学学術研究院教育学系教授を講師に合同研修会を3回開催したり、相互に保育・授業を参観する参観句間を年間2回(2週間)設けたりして、教師力を高め合った。職員の共通認識、意識醸成、業務多忙による実践の困難さが課題である。

2 会染保育園の方向性について、パブリックコメント結果では少子化や財政面を鑑み、池田保育園へ統合する案に賛成の意見が多かった。統合する場合会染中鵜地区に保育施設が無くなること、保護者の送迎の利便性等で課題がある。今後も入園児推計、町民の考え及び財源の確保等多角的な視野で検討していく必要がある。

5、6 インクルーシブ教育の推進が求められているが、池田町は他市町村と比較し特別支援学級への入級率が高い。意識的に進めるため保小中管理職研修を行い方向性について意識共有を図った。今後全ての職員間での意識共有、学びの場の見直し、どのように合理的配慮をしていくかが課題である。

8 いじめ問題について、小中学校でタブレット端末を活用した授業が進む中、特に端末に不適切な書き込みはしない等意識付けに取り組んだ。今後も粘り強い取り組みが必要である。

9 不登校について、フリースクール利用が増える中児童生徒が学びやすい環境を整えるよう、施設との連携に努めた。不登校の課題はその子により様々で、解決は困難であるが今後も多世代相談センターと連携し取り組む必要がある。

4 今後の方向性

1 15年プラン推進に向けたシステムの確立、0歳(妊娠期)～2歳の発達や学びの接続、保護者連携、地域発信を行う。

2 会染保育園の方向性について、多角的な視野で町民等の意見を大切にしながら更に検討を進めていく。

- ・会染小学校の大規模改修を令和8年度に着工出来るよう進める。
- ・ICT支援員の配置により小中学校のICT環境の整備等を引き続き進める。

5、6 インクルーシブ教育推進について、教職員間の共通認識を図るとともに、保護者との合意形成を図りながら学びの場の見直し、原籍学級での合理的配慮、適切な支援に努める。

8 いじめ防止対策としてセカンドステップ、CAPによるワークを続けるとともに、学校や諸機関との情報共有、連携体制を強める。保護者への啓発も継続して行う。

9 民間フリースクール利用について、出席扱いに関わるガイドライン作成に取り組む。

- ・不登校等対策のため、保育園からの育ちや支援の仕方がわかる個別支援シートを参考に、その子に応じた適切な支援のあり方を進めていく。
- ・不登校(傾向)児童生徒がITを利用して学習に取り組めるよう引き続き進めていく。

10 認定こども園 箸を正しく持てない児童が増えているので、まずスプーン、フォークを正しく使えるように進め、出来るようになったら箸を使うよう段階的に取り組む。

令和3年度 基本施策評価シート 2-3

施策分野	2 子育て支援・教育に係る施策	基本施策名	(3)生涯学習のまちづくり
------	-----------------	-------	---------------

R3目標達成度 平均	R5目標達成度 平均
83%	67%

1 令和3年度主要施策の取り組み内容、状況

(1)芸術文化・生涯学習の振興、各文化施設の有効活用

主な取り組み	対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1 開館日数236日。浅原六朗文学記念館において、誰もが気軽に芸術や文化に触れることができる環境を整え、地域づくりにつながる場を創出した。てるてる坊主童謡祭、六朗先生を偲ぶ会及び六朗文学講座は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。	①⑦⑧	来館者 312人	文化財 保護推進 室
2 美術館において新型コロナウイルス感染症の対策を行い、7件の企画展を実施した。	①⑨	来館者 9,716人	公園・ス ポーツ係
3 交流センター利用者の会主催によるイベント1回開催、月1回の読書会の実施。交流センターに69,763人の来場があり、多くの方に利用された。	①⑤⑥	イベント1	生涯学習 係
4 生涯学習講座の実施。インターネットを活用した講座の実施。	②③④	講座参加 者608人	生涯学習 係
5 図書消毒機の導入、換気などの実施により新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を行い図書館運営を行った。延べ貸出者9,575人、年間貸出冊数42,693冊	②⑥	年間貸出冊 数42,693冊	生涯学習 係
6 創造館では新型コロナウイルス感染の状況を見ながら、ピアノ公募コンサートを延期開催するなど調整を計った。また野外で行うコンサートを実施した。	①⑧	開催事業5	公園・ス ポーツ係

(2)文化財の保護活用

主な取り組み	対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1 文化財展示室の維持管理、資料整備。展示室開館日数236日 小中学校の総合学習等の活用。県立歴史館との共同開催として企画展「弥生土器展」の開催。	②	来館者 372人	文化財保 護推進室

2 成果指標状況

指標	R1年度	R2年度	①R3年度	②R3年度	R4年度	③R5年度	目標達成度(実績/目標)		R3予算削減		令和3年度実績値詳細		担当	備考
	実績値			目標値			①/②	①/③	有無	影響度				
1 社会資本総合整備計画に基づく各種事業の進捗率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	無	—	令和元年度に図書館を併設した交流センターかえで及びかえで広場の整備が完了し、供用を開始しているため、目標は達成した。		生涯学習 係	【戦略】
2 「かえでの会」(交流センターかえで利用者の会)加入者	64人	64人	65人	50人	50人	50人	100%	100%	無	—	新規加入1名、かえでの会主催講演会1回開催		生涯学習 係	—
3 生涯学習講座参加者数	1,918人	608人	924人	1,000人	2,500人	3,000人	92%	30%	有	無	・総合学習講座いきいき元気！みのり塾202人(11回開催) ・ふるさとチャレンジ塾101人(8回開催) ・家庭教育学級ボレボレ塾423人(12回開催) ・若者ネットワークづくりアクションみらい塾105人(7回開催) ・花とハーブ暮らし塾79人(5回開催) ・たまごびな講座14人(2回開催) ※すべて延べ人数		生涯学習 係	—
4 生涯学習講座終了後受講者がサークルとして活動する数	5サークル	延6サークル	延6サークル	延5サークル	延5サークル	5サークル	100%	100%	無	—	新規加入・脱退なし 既存:カラオケ、着物着付け、ギター、パソコン、ウクレレ、フラダンス		生涯学習 係	—
5 サークルと協働で生涯学習事業を開催した数	2事業	1事業	2事業	2事業	3事業	4事業	100%	50%	有	無	花とハーブ暮らし塾(ハーバルヘルススケートレーナーの会 みちくさ) みのり塾第9回 アメリカンフラワーづくり(こすもす)		生涯学習 係	—
6 図書館貸出人数	6,619人	12,407人	9,575人	10,000人	10,500人	11,000人	95%	87%	無	—	利用者数9,575人(延べ人数)、年間貸出冊数42,693冊		生涯学習 係	—
7 浅原六朗文学記念館コンサート開催数	年1回	年0回	年0回	年1回	年1回	年1回	0%	0%	有	無	新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。		生涯学習 係	—
8 美術館入館者数	14,202人(うち有料9,487人)	7,563人(うち有料5,052人)	9,716人(うち有料5,352人)	15,000人(うち有料入館者数10,000人)	17,000人(うち有料入館者数13,000人)	20,000人(うち有料入館者数15,500人)	65%	49%	無	—	7企画展実施、入館者9,716人(うち有料5,352人)		公園・ス ポーツ係	—
9 創造館し開催数	自主開催8 民間開催1	自主開催7 民間開催1	自主開催5 民間開催0	自主開催5 民間開催1	自主開催7 民間開催2	自主開催8 民間開催2	83%	50%	有	無	公募コンサート1回、秋まつり1回、展示2回、ふるさと講座1回、他6件中止(内、民間ジャズコンサート含む)		公園・ス ポーツ係	—
10 芸術・文化のふるさとづくりの新規イベントなどの取り組み件数	0件	1件	1件	1件	1件	1件	100%	100%	有	無	弥生土器展11月6日～12月5日		文化財保 護活用推 進室	5年間合計 【戦略】

3 取り組み結果、課題

新型コロナウイルス感染症の影響による休館があり、来場者等の減少が続いた。文化財展示室が開館され、町の文化財を後世に伝えていくための拠点ができた。交流センターを生涯学習の拠点として活用し、多くの人に生涯学習の機会を提供することが必要になっている。フリースペースや図書館学習コーナーの利用者が増え、平日の日中は社会人、放課後、休日は、中学生を中心とした人たちの居場所として活用されている。

4 今後の方向性

- ・文化財展示室を中心に歴史資料、文化資料を周知啓発をしていく。
- ・広い年代の方へ社会情勢に応じた生涯学習の場を提供していく。
- ・美術館について、指定管理者制度が継続できるよう早期に示していく。

施策分野	2 子育て支援・教育に係る施策	基本施策名	(4)生涯スポーツの推進
------	-----------------	-------	--------------

R3目標達成度 平均	R5目標達成度 平均
100%	90%

1 令和3年度主要施策の取り組み内容、状況

(1)環境整備、事業展開

主な取り組み		対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1	施設の適正な維持管理 週1回の点検見回り清掃	①	適宜	生涯学習 係
2	大かえで倶楽部へ補助金を交付による事業支援により、スポーツ事業の充実を図った。(各種教室・イベント)	②③	941人	生涯学習 係
3	障害者スポーツの推進として、障害者スポーツのフットベースボール・ボッチャ体験会の開催を行った。	④	4回	生涯学習 係
4	スポーツ協会・少年少女スポーツクラブ、各種団体へ補助金支援による振興を図った。	⑤	11団体	生涯学習 係
5	松本山雅FCとの連携によるスポーツ振興(小学生試合観戦、保育園運動教室、小学生キャリア教育、ウォーキングサッカー)	⑥	4回	生涯学習 係
6	長野県運動プログラムの導入により小学校低学年の体育支援を行った。(5クラス×10回)	④	50回	生涯学習 係
7	幼児運動広場の開設	②	5月～11月 毎月曜日	生涯学習 係

2 成果指標状況

指標	R1年度	R2年度	①R3年度	②R3年度	R4年度	③R5年度	目標達成度(実績/目標)		R3予算削減		令和3年度実績値詳細	担当	備考
	実績値			目標値			①/②	①/③	有無	影響度			
1 軽スポーツおよびレクレーション教室年間開催数	8教室	8教室	9教室	9教室	9教室	10教室	100%	80%	有	無	コロナウイルスによる活動制限がある中、対策・開催方法の見直しを行いながら教室を開催した。	生涯学習 係	-
2 総合型地域スポーツ倶楽部「大かえで倶楽部」会員数	305人	442人	486人	300人	300人	300人	100%	100%	有	無	人気のあるヨガ教室を前期・後期・夜の部に分け、大勢の皆様に参加できるように教室内容を改善した。	生涯学習 係	-

3 取り組み結果、課題

・今後の大かえで倶楽部の発展には、指導者の確保、育成、自主運営財源の確保が課題。また、少子化、高齢化に伴い町スポーツ協会加盟クラブ、少年少女スポーツクラブ等のクラブ員も減少してきているため、クラブ員確保も課題となる。

・2年度から小学校低学年へ導入した長野県版運動プログラムにより、運動遊びを通して運動の持つ特性や魅力にふれ、子供たちが「できた」「わかった」達成感、自信を育む事ができ、子供の心と体の成長に必要なプログラムのため今後も継続して指導を行う。

4 今後の方向性

・各種目の団体の高齢化が進み、新規のクラブ員が増えないため、子供のころから運動をする習慣をつけるように幼児、小学校低学年の運動教室を展開する。

令和3年度 基本施策評価シート 2-5

施策分野	2 子育て支援・教育に係る施策	基本施策名	(5) 交流の拡充
------	-----------------	-------	-----------

R3目標達成度 平均	R5目標達成度 平均
50%	25%

1 令和3年度主要施策の取り組み内容、状況

(1) 横浜磯子区岡村西部連合自治会との交流

主な取り組み	対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1 児童交流を、当町と横浜市の会場で隔年交互に開催し、双方の価値観を共有（池田町で開催の予定も2年度に引き続き新型コロナで中止）	①	0	企画係

(2) 交流の拡大、連携

主な取り組み	対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1 大阪、愛知、福井、山梨、県内からの招待チームによるチャンピオンズサッカースポーツ少年団大会の交流がコロナの影響で開催できなかった。	①	0	公園・スポーツ係

2 成果指標状況

指標	R1年度	R2年度	①R3年度	②R3年度	R4年度	③R5年度	目標達成度(実績/目標)		R3予算削減		令和3年度実績値詳細		担当	備考
	実績値			目標値			①/②	①/③	有無	影響度				
1 大北圏域以外の都市・自治体との交流事業	1件	0件	0件	1件	1件	年1件以上	0%	0%	有	無	横浜市磯子区岡村西部連合自治会との交流を予定するも、新型コロナウイルスの影響で実施を断念した。		企画係	【戦略】
2 大北圏域以外の都市・自治体との交流 交流先数	1カ所	1カ所	1カ所	1カ所	1カ所	2カ所以上	100%	50%	有	無	横浜市磯子区岡村西部連合自治会		企画係	-

3 取り組み結果、課題

【横浜交流】 ・横浜市磯子区岡村西部連合自治会との交流を予定するも、2年連続で新型コロナウイルスの影響で実施を断念した。次回は池田町に受け入れて開催予定。 ・課題 なかよし学校同士交流のため、H30に環境整備(skypeの利用)するも活用は進んでいない。学校主導で交流が深まるよう、教委・学校と協議の必要あり。 【国際交流】 ・児童生徒には、英語圏の国対象が望ましいが、コロナ禍もあり目途が立たない。
--

4 今後の方向性

・横浜交流は学校主導のほか保護者の協力を得て実施している。さらに児童生徒の創意工夫を生み出し、自主性を高めるように導き、児童にとって発展性のある交流の実現を目指す。 ・国際交流について、相手先を検討し、友好都市等の締結を目指す。

施策分野	3 生活基盤の整備・移住定住に係る施策	基本施策名	(1)道路の整備
------	---------------------	-------	----------

R3目標達成度 平均	R5目標達成度 平均
100%	99%

1 令和3年度主要施策の取り組み内容、状況

(1)安全で快適な道路環境づくり

主な取り組み		対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1	県道等の道路整備について県へ要望した。	①	通年	建設係
2	修繕計画に基づく橋梁修繕を実施した。道路改良、舗装、老朽箇所の補修を実施した。	③④	通年	建設係
3	除雪等実施した。	⑤	降雪時	建設係
4	協働による農道の適切な維持管理を実施した。	⑥	通年	耕地林務係

2 成果指標状況

指標		R1年度	R2年度	①R3年度	②R3年度	R4年度	③R5年度	目標達成度(実績/目標)		R3予算削減		令和3年度実績値詳細	担当	備考
		実績値			目標値			①/②	①/③	有無	影響度			
1	町道拡幅改良	52.3%	52.4%	52.7%	52.5%	52.6%	53%	100%	99%	無	—	年次計画に従い町道登波離橋線(繰越)、町道八代線(繰越)、道路改良工事実施。	建設係	—
2	修繕を要する橋梁17橋のうち、改修した割合	29%	41%	71%	35%	41%	47%	100%	100%	無	—	修繕レベル3以上の橋梁4橋及について修繕実施。1橋架け替え実施。	建設係	修繕レベル3以上の橋梁対象

3 取り組み結果、課題

・目標を達成しているため、今後も計画に沿って事業を実施する。 ・拡幅の要望は対応できている箇所が多いが、道路の整備についてまだ要望に応えきれていない

4 今後の方向性

・計画に基づく着実な道路改良整備と橋梁修繕を実施する必要がある。

施策分野	3 生活基盤の整備・移住定住に係る施策	基本施策名	(2)住宅対策の推進
------	---------------------	-------	------------

R3目標達成度 平均	R5目標達成度 平均
72%	62%

1 令和3年度主要施策の取り組み内容、状況

(1)宅地開発、公営住宅施策

主な取り組み		対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1	国土利用計画(第4次池田町計画)の策定	-	審議会2回	企画係

2 成果指標状況

指標		R1年度	R2年度	①R3年度	②R3年度	R4年度	③R5年度	目標達成度(実績/目標)		R3予算削減		令和3年度実績値詳細	担当	備考
		実績値			目標値			①/②	①/③	有無	影響度			
1	定住促進住宅などの新規分譲区画数(民間開発も含む)	6区画	延16区画	延20区画	延24区画	延32区画	延べ40区画	83%	65%	有	有(小)	開発事業完了数による	企画係建設係	【戦略】
2	一般個人住宅の建築件数	44件	延80件	延110件	延90件	延120件	延べ150件	100%	100%	有	有(大)	令和3年度土地利用調整協議完了数による	企画係	5年間合計 土地利用調整協議 ※1完了数
3	集合住宅の建築件数	0世帯分	延10世帯分	延10世帯分	延30世帯分	延40世帯分	延べ50世帯分	33%	20%	無	—	開発事業完了数による	企画係	5年間合計

3 取り組み結果、課題

・住宅建築は目標を20件上回り、新規分譲地は20区画と目標を若干下回った。しかし、集合住宅は1棟(10世帯分)と伸び悩み目標達成が困難な見込みである。
・令和3年10月から始まる土地利用計画(第2期)で、利便性が高く、かつ田園風景が保全できる場所を選定し開発可能なエリアを拡大、新規分譲地や集合住宅の開発を促進している。

4 今後の方向性

池田町の豊かな自然環境を維持するため宅地開発が可能地域なエリアを限定し、引き続き自然と調和した住宅や集合住宅の開発を促していきたい。

施策分野	3 生活基盤の整備・移住定住に係る施策	基本施策名	(3)上下水道の整備
------	---------------------	-------	------------

R3目標達成度 平均	R5目標達成度 平均
100%	100%

1 令和3年度主要施策の取り組み内容、状況

(1)上水道の整備

主な取り組み			対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1	安定した水道水供給を維持するため、定期的機器点検及び漏水箇所の補修		①②③④	年間	水道係

(2)下水道の整備

主な取り組み			対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1	包括的民間委託の継続		③	年間	水道係

2 成果指標状況

指標		R1年度	R2年度	①R3年度	②R3年度	R4年度	③R5年度	目標達成度(実績/目標)		R3予算削減		令和3年度実績値詳細	担当	備考
		実績値			目標値			①/②	①/③	有無	影響度			
1	上水道有収率	86.1%	87.1%	89.8%	90.0%	90.0%	90%	99.8%	99.8%	無	—	個人宅内漏水の発見件数が多く、各自にて修理したこと及び、本管の漏水事故が減少したことにより有収率が向上した。	水道係	—
2	水洗化率	92.4%	93.1%	93.4%	91.8%	91.9%	92%	100.0%	100.0%	無	—	行政人口の減少に対して水洗化済み世帯の人口減少が少ないため、目標達成となった。	水道係	—

3 取り組み結果、課題

上水道・下水道共に計画的な施設更新を行う必要がある。 特に上水道に関しては、順次更新を進めているが今後20年以内に全水道管の3割が規定の耐用年数を迎える。 水洗化率は、浄化槽設置者及び未加入者数を考慮すると実質96%を超え、残りの4%弱は経済的理由から下水道への接続は難しいことから、今後横ばいに推移すると思われる。
--

4 今後の方向性

計画的な施設更新を行うとともに、引き続き漏水箇所の特定と修繕に努める必要がある。
--

施策分野	3 生活基盤の整備・移住定住に係る施策	基本施策名	(4)交通の整備
------	---------------------	-------	----------

R3目標達成度 平均	R5目標達成度 平均
100%	100%

1 令和3年度主要施策の取り組み内容、状況

(1)交通安全対策

主な取り組み		対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1	交通指導員、交通安全支部長、協力事業所による交通安全指導の継続実施	②	随時	環境係
2	交通安全施設及び路面標示舗装の整備	③	随時	建設係・環境係
3	通学路におけるブロック塀の設置状況調査実施による通学路上の危険箇所の把握及びブロック塀等除却補助の継続実施	③	点検1回	学校保育係・建設係
4	交通災害共済掛金の全町民分公費負担	④	加入実績 延べ9,912人	環境係
5	運転免許自主返納支援事業の継続実施(町営バス回数券13,200円分支給)	⑤	34名	環境係

(2)町営バス運行関係

主な取り組み		対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1	JRの運行に合わせた運行時刻改正の実施	①	1回	環境係
2	町営バス6路線の利便性向上に向けた検討	①	随時	環境係
3	高齢者、障害者手帳等所持者への割引回数券、定期券の発行	②	随時	環境係

(3)交通弱者対策

主な取り組み		対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1	福祉輸送サービスの実施	①	1521回	福祉係
2	送迎付きの買い物支援の訪問型サービスD型事業実施事業者への補助	①	実人数8名 延べ82回	地域包括支援センター
3	町内巡回線の空白地の把握、対応策の検討	①	随時	環境係

2 成果指標状況

指標	R1年度	R2年度	①R3年度	②R3年度	R4年度	③R5年度	目標達成度(実績/目標)		R3予算削減		令和3年度実績値詳細	担当	備考
	実績値			目標値			①/②	①/③	有無	影響度			
1 人身事故の発生件数	17件	11件	9件	20件以下	20件以下	20件以下	100%	100%	無	—	長野県警察本部交通部発表、令和3年1月1日から令和3年12月31日までの間	環境係	5年間平均

3 取り組み結果、課題

・交通安全対策では通学路安全点検の結果を踏まえ、ガードポスト3基、道路反射鏡2基を設置し、区画線2,540mの修繕を行った。また会染小学校の通学路である内鎌・林中地区町道5号線にグリーンベルトを設置するとともに路面標示による注意喚起を行い、通学する児童生徒の交通安全の向上を図った。 ・運転免許の自主返納者は34名と、前年の34名と同数であった。 ・町営バスの運行では、利便性向上のために鉄道運行に合わせた時刻改正を行った。また、町内巡回線の利用方法、回数券の販売場所を広報いけだに掲載し利用促進を図った。 ・町営バスの利用者の利便性向上を図るため、ルート変更やバス停新設を実施した(町内巡回線「渋西」、池坂線「新田」)。また、利用者僅少により全路線で祝日及び年末(12/29・30)を連休した(R3.3月～)。

4 今後の方向性

・通学路上の直接児童生徒に影響が及ぶ倒壊の危険のあるブロック塀について、除却補助金制度の活用を(所管部署との連携を含め)積極的に努めていく。 ・令和3年度末には死亡事故ゼロ2,745日となり、人身事故の件数も減少傾向のため、町民の交通安全意識の高さを継続するよう施策を進め、合わせて交通安全施設等の整備を継続して順次行っていく。 ・町営バスの利便性の向上のため、引き続き運行改善を行い、特に町内巡回線の利用方法の啓発を関係部局と協力して続けていく。 ・町民の利用が著しく少ない池坂線(生坂村民の利用が8割以上)について、予算削減の一環として、費用対効果の面から廃止し、R5年度より生坂村に運行を引き継いでもらえるよう調整している。 ・訪問型サービスD型事業については、高齢者数が増加する中、利用者数の増も見込まれる。要介護とならないよう自立を支援するためのサービスとして捉え、引き続き支援していく。

令和3年度 基本施策評価シート 3-5

施策分野	3 生活基盤の整備・移住定住に係る施策	基本施策名	(5) 移住定住の促進
------	---------------------	-------	-------------

R3目標達成度 平均	R5目標達成度 平均
83%	79%

1 令和3年度主要施策の取り組み内容、状況

(1)移住定住への支援、空き家の利活用

主な取り組み		対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1	移住情報の積極的な発信(町配信メールや町ホームページ、地域おこし協力隊facebookなど)。ふるさとCMを活用し町のPRを実施した。	①④⑤	適宜	移住定住係
2	空き家などの利活用促進(空き家バンクの活性化)	②	登録21件 契約26件	移住定住係

主な取り組み		対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
3	移住準備住宅活用(3年度末時点で1世帯1名入居中)	③	2棟	移住定住係
4	移住推進協議会の開催	⑥	協議会1回 部会3回	移住定住係

2 成果指標状況

指標		R1年度	R2年度	①R3年度	②R3年度	R4年度	③R5年度	目標達成度(実績/目標)		R3予算削減		令和3年度実績値詳細	担当	備考
		実績値			目標値			①/②	①/③	有無	影響度			
1	移住希望者・町に関心がある人向けの情報発信ツールの作成	年5件	年6件	6件	年3件	年4件	5件	100%	100%	無	—	①池田町配信メール ②県等の外部機関のポータルサイトでの情報発信(県、JOIN) ③町ホームページ(移住定住通信等) ④地域おこし協力隊のfacebook ⑤町のtwitter ⑥北アルプス連携自立圏による情報発信(山岳雑誌"山と渓谷"に記事掲載など)	移住定住係	5年間合計【戦略】
2	空き家などの利活用に関する相談件数	18件	13件	20件	年20件以上	年20件以上	年20件以上	100%	100%	無	—	役場窓口での相談件数20件	移住定住係	【戦略】
3	空き家などの改修件数	4件	11件	10件	年6件以上	年8件以上	年10件以上	100%	100%	有	有(小)	空き家バンク制度を利用して購入した物件の改修件数(空き家バンク活用事業の改修事業の件数)	移住定住係	【戦略】
4	移住準備住宅整備	2件	2件	2件	3件	4件	5件	67%	40%	無	—	新規整備は行っていない。教職員住宅の空室があれば、準備住宅での活用了解を得ているため、次年度以降活用していく。	移住定住係	町全体整備数【戦略】
5	定住補助助成頻度	51件	53件	34件	年8件以上	年8件以上	年8件以上	100%	100%	有	有(大)	定住促進補助金交付実績(新築28件、中古6件)。ただし、令和3年度から補助額の大幅な減額になった影響は大きい。	移住定住係	【戦略】
6	県外からの転職を伴う移住希望者からの就労に関する相談件数	延74件	延79件	延97件	年20件以上	年20件以上	年20件以上	100%	100%	無	—	起業や就職を検討しているとの内容を含む相談件数(役場作成の相談カードや各種相談での主催者からの情報を元に件数を算出、役場窓口、電話、メール、オンラインイベントなど全てを対象として算出)	移住定住係	【戦略】
7	行政に係る移住実績	年32件(78人)	年38件(88人)	年26件(60人)	年22件	年23件	24件	100%	100%	有	有(大)	移住相談や補助金制度などを利用しての移住者数(当係に関連した移住者数)。新築等の補助金の大幅な減額の影響は大きいと考える。	移住定住係	—
8	住み替え円滑化のしくみに基づく住み替え事例	0件	0件	0件	1件以上	1件以上	1件以上	0%	0%	無	—	住み替え円滑化による実績なし	移住定住係	5年間合計【戦略】
9	地区別の人口増減率がマイナス10%以下の地区数	—	13地区	13地区	—	—	10地区	70%	70%	無	—	令和2年度国勢調査値を元に算出	移住定住係	国勢調査結果【戦略】

3 取り組み結果、課題

・空き家バンクの運営に関しては、開始以降令和3年度末まで登録94件に対し契約78件となった(契約率約83%)。固定資産税の納税通知書発送の際にチラシを同封し、空き家バンク制度を周知した。
・発信ツールの活用、セミナー参加など当町のPRを地道に続けてきたことにより移住が進み、移住者数実績が目標を達成した。(補助金交付による移住者は減少した)
・移住してきた方を対象としたイベント”移住者カフェ”を開催した。移住者同志のつながりの場をつくることを目的とし、例月開催した。(新型コロナウイルスの影響で中止したこともあったが)
・新型コロナウイルスの影響により中止したツアーもあったが、移住案内ツアーは7回開催した。
・北アルプス連携自立圏事業で、令和3年度は山岳雑誌”山と渓谷”に記事を掲載し、管内のPRを行った。自立圏で相談窓口を設置し相談者に応じた。
・補助金の削減により、新築・中古購入の件数は減少した。
・池田町に根ざした店舗が、移住希望者からの相談に応じる制度”移住協力店制度”を開始した。
・危険空家業務は補助金を4件交付し、空き家の減少が図れた。

4 今後の方向性

・情報発信ツールの活用やセミナー、ツアー等を通じ、引き続き当町のPRを行う。
・移住希望者の受け皿となるよう空き家バンク業務を強化していく(特に発掘に重きを置き、多くの物件を紹介できるようにしたい)。
・移住協力店制度の登録店を増やし、行政窓口だけでなく町内の協力店でも移住相談ができる機会を増やしていく。
・移住者の集う機会を定期的に設け、フォローしていく。(移住者カフェの継続開催)。移住者カフェには移住希望者の参加も受け入れ、情報交換の場として活用していく。
・町の予算削減の一環で、新築や中古物件の購入に対する補助額と、空き家バンク活用事業の補助額が大幅な減額となった影響は大きいと考えられるため、補助額の増額も検討していく。
・危険空家業務については、池田町空家等対策計画の更新年度であるため計画を更新し、減少を図っていく。

施策分野	4 産業に係る施策	基本施策名	(1) 農業の振興・森林の保全活用
------	-----------	-------	-------------------

R3目標達成度 平均	R5目標達成度 平均
67%	47%

1 令和3年度主要施策の取り組み内容、状況

(1) 農業担い手確保と経営安定化

主な取り組み		対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1	実質化された人農地プラン(R3.3策定)の見直し(R3年12月)	①⑦	検討会 1回	農政係
2	中間管理事業等による農地の集積・集約化の推進	①⑦	新規設定 63.2ha	農政係
3	産地生産基盤パワーアップ事業により、作業効率、生産効率向上のため高性能機械導入、農業設備整備等に向けて支援した	②⑤⑦	1件	農政係
4	強い農業・担い手づくり総合支援事業により、作業効率、生産性向上のための高性能機械導入を支援した	②⑤⑦	2件	農政係
5	米の生産目安値に沿った適正生産推進と転作作物への支援を行った	③④⑤	転作率 30.23%	農政係
6	サル被害を軽減するため、R2に引き続き、GPS装置を導入(首輪1基)し、サルの行動調査を実施。広津に大型捕獲檻を設置し、捕獲した。	⑥	15頭	農政係
7	有害鳥獣侵入防止のための柵を設置した	⑥	新規設置 L=170m	農政係
8	新規就農希望者の相談と新規就農者の就農直後の所得を確保し就農定着を図るため給付金を給付した	⑦	給付金支給 6組11人	農政係

(2) 森林資源の維持と活用

主な取り組み		対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1	各地区協議会における森林整備事業の実施及び事業導入の検討	①	通年	耕地林務係

2 成果指標状況

指標		R1年度	R2年度	①R3年度	②R3年度	R4年度	③R5年度	目標達成度(実績/目標)		R3予算削減		令和3年度実績値詳細		担当	備考
		実績値			目標値			①/②	①/③	有無	影響度				
1	県営事業導入によるほ場整備面積	0ha	延26ha (18ha)	延39.5ha (28ha)	延39.5ha (28ha)	延56ha (40ha)	79ha(うち 農地61ha)	100%	50%	無	—	3・4工区の面整備が完了し耕作が開始された。		耕地林務係	—
2	新規銃猟者数	0人	延0人	延0人	延3人	延4人	5人	0%	0%	無	—	—		農政係	—
3	10～40代の新規就農者数	4人	延6人	延9人	延7人	延8人	10人	100%	90%	無	—	ワイン用ぶどうを中心に耕作する者が新規に就農した		農政係	5年間合計 【戦略】

3 取り組み結果、課題

・実質化された人・農地プランの策定により、離農者への対応のため、誰が継続して耕作を担っていくのかを決めるためのルールができた。(R3.3策定)このルールに基づき、農地の集積・集約をすると共に、各種補助金を活用し、担い手の経営強化を行った。
・10年後には半数以上の面積の農地で、現在の経営者が経営できないことが予想される。
・サル被害は農作物だけでなく、民家のテレビアンテナ、雨樋等におよび深刻な状況である。R2に調査した結果を活かし、大型捕獲檻を設置し、15頭を捕獲した。

4 今後の方向性

・米の需要が減少しており、米+αの複合化経営による高収益作物への転換が求められている。担い手の経営強化、作業効率、作物の販路等を考慮した高収益作物の選定や、移行に伴う機械や施設整備に国等の補助金を活用し経営安定を目指す。
・小規模農業経営者の規模拡大や新規就農者の育成などにより担い手の確保を引き続き進めたい。
・有害鳥獣から農作物被害を防止するため、個体数調整による捕獲の強化、広域侵入防止柵の継続した適正管理の仕組み構築による機能維持、緩衝帯整備等による有害鳥獣の生息しにくい環境整備を各地区協議会と連携して行いたい。
・各地区協議会における国・県補助事業を導入した森林整備を進めるとともに、新たな森林管理制度による森林環境譲与税を活用した森林整備を推進したい。

令和3年度 基本施策評価シート 4-2

施策分野	4 産業に係る施策	基本施策名	(2) 商業の振興
------	-----------	-------	-----------

R3目標達成度 平均	R5目標達成度 平均
100%	100%

1 令和3年度主要施策の取り組み内容、状況

(1)商業振興・起業への支援(商工会、他機関と連携しての取り組み)

主な取り組み	対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1 経営改善や地域商業力強化事業の実施(池田町商工会委託)	①	通年	商工観光係
2 助成事業 創業支援 6件、商業振興対策 4件	②	10件	商工観光係
3 既存店舗活性化に関する事業の実施(池田町商工会委託)	③	通年	商工観光係
4 指定管理によるシェアスペースにぎわいの運営 にぎわい事業の実施(委託事業)	④	通年	商工観光係
5 創業に関する相談受付(池田町商工会委託)	⑤	通年	商工観光係
6 創業塾の開催	⑥	中止	商工観光係
7 中小企業小規模事業者振興円卓会議小委員会の開催(商業、工業)	⑦	各1回	商工観光係
8 新型コロナウイルス感染症に係る経済対策事業	②	6事業	商工観光係

2 成果指標状況

指標	R1年度	R2年度	①R3年度	②R3年度	R4年度	③R5年度	目標達成度(実績/目標)		R3予算削減		令和3年度実績値詳細	担当	備考
	実績値			目標値			①/②	①/③	有無	影響度			
1 年間商品販売額	101億円	-	-	98億円	-	100億円	評価なし	評価なし	無	-	平成28年度経済センサスによる数値調査は5年毎に実施(次回令和3年度:現時点では市町村毎の数値公表されていない)	商工観光係	経済センサス活動調査【包括戦略】
2 地元滞留率	20.3%	-	-	11%	-	12%	評価なし	評価なし	無	-	平成30年度長野県商圏調査による数値(全品目平均値)調査は3年毎に実施(次回令和3年度:現時点では未公表)	商工観光係	全品目の平均値
3 町内での起業件数	4件	延13件	延19件	延3件	延4件	5件	100%	100%	無	-	町内創業者(池田町商工会加入者数)	商工観光係	5年間合計【戦略】
4 若者・子育て世代の「まちなかのにぎわい」に対する満足度	-	-	-	-	-	10%	評価なし	評価なし	無	-	当該満足度は2015年の「人口ビジョン・総合戦略策定アンケート」を基にしている。次回は令和5年度に調査予定。	商工観光係	アンケート結果【戦略】

3 取り組み結果、課題

・創業件数は目標値以上となり、創業・商業振興対策支援補助金の申請も当初予想より多く問い合わせや申請が行われるなど好調である。
・シェアスペースにぎわいは、管理者の運営努力により利用者は増えているが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、ランチ・カフェの利用者が減少しており、今後の課題である。また、収益事業の拡大も継続して進めたい。
・町内での空き店舗、空き物件を利用した創業出店は毎年少数ながら行われている。
・新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた町内事業者に対して、事業の継続支援給付金を支給するなど対応を行った。

4 今後の方向性

・創業・商業振興対策支援補助金制度により、創業や、事業の継続を図る事業者は増えており、今後も周知に努めたい。
・シェアスペースにぎわいを中心とした、町内賑わいイベントの開催や、晴れるや市等による農産物や加工品、町内酒蔵やワイナリーが醸造した酒類の展示販売等を進め、新規起業業者も気軽に商品を販売し手ごたえを得られるような環境づくりを行いたい。また、指定管理者の収益に応じて使用料を町に納入してもらう。
・新型コロナウイルス感染拡大の状況下ではあったが、円卓会議小委員会を工業、商業とも各1回づつ開催し、今後定期的に小委員会を開催し討論を重ね、全体会議開催の準備を進めていくこととした。
・商業等活用エリアの活用について検討を進め、事業者への販売を視野に広報・公募を実施する。

施策分野	4 産業に係る施策	基本施策名	(3)工業の振興
------	-----------	-------	----------

R3目標達成度 平均	R5目標達成度 平均
75%	67%

1 令和3年度主要施策の取り組み内容、状況

(1)企業誘致、町内企業支援

主な取り組み		対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1	工場を新設、増設、創業する際の補助交付による支援	②	1	商工観光係
2	町内へ工場や事業所の設立を考えている事業者への対応	①	5	商工観光係、財政係

2 成果指標状況

指標		R1年度	R2年度	①R3年度	②R3年度	R4年度	③R5年度	目標達成度(実績/目標)		R3予算削減		令和3年度実績値詳細	担当	備考
		実績値			目標値			①/②	①/③	有無	影響度			
1	製造品出荷額など(H25工業統計調査)	157億円	142億円	-	190億円	195億円	190億円(計画期間の平均値)	75%	75%	無	—	令和2年度経済センサス活動調査(令和3年度調査は現時点で市町村毎の数値が公表されていない) なお、工業統計は令和2年度をもって廃止。	商工観光係	工業統計調査【包括戦略】
2	新規の企業誘致件数	0件	延1件	延1件	延1件	延1件	1件以上	100%	100%	無	—		商工観光係	5年間合計【戦略】
3	工場誘致等に関する条例に基づく助成および優遇措置の適用事業所数	0事業所	延1事業所	延1事業所	延2事業所	延3事業所	4事業所	50%	25%	無	—		商工観光係	5年間の内適用となった事業所数【戦略】

3 取り組み結果、課題

・町内へ進出を希望する事業所との調整を行い、現在新規建設に向けて準備中である。
・新型コロナウイルス感染症による出荷額の落ち込みがあったが、事業所への給付金を支給するなど対応を行った。

4 今後の方向性

・今後、新型コロナウイルス感染状況と、国内・県内の経済状況を注視し、町内工業力の活性化を検討したい。
・工場進出希望企業への情報提供を積極的に進めていきたい。

令和3年度 基本施策評価シート

4-4

施策分野	4 産業に係る施策	基本施策名	(4)観光の振興
------	-----------	-------	----------

R3目標達成度 平均	R5目標達成度 平均
61%	54%

1 令和3年度主要施策の取り組み内容、状況

(1)観光資源を活かした事業展開

主な取り組み	対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1 池田町の魅力・タイムリーな情報を積極的に発信し、観光誘客数・観光消費額の向上	①	随時	商工観光係
2 池田町の主要な観光資源の有効活用(紅葉時期のテレビPR)	②③④	1回	商工観光係
3 宿泊能力の強化による観光消費額の増進	⑤	1施設	商工観光係
4 官民連携による観光推進	⑥⑦	3行事	商工観光係

2 成果指標状況

指標	R1年度	R2年度	①R3年度	②R3年度	R4年度	③R5年度	目標達成度(実績/目標)		R3予算削減		令和3年度実績値詳細	担当	備考
	実績値				目標値		①/②	①/③	有無	影響度			
1 観光地利用者延数	40万人	26.2万人	22.9万人	46万人	48万人	50万人	50%	46%	無	—	新型コロナウイルス感染拡大の影響	商工観光係	観光地利用者統計調査(長野県)【包括戦略】
2 観光協会への問い合わせ件数	2,910件	1,200件	1,200件	3,000件	3,000件	3,000件	40%	40%	無	—	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、定着しつつあった旅行会社とのツアー造成商品が中止となった。	商工観光係	【戦略】
3 観光消費額単価	585円	625円	584円	650円	700円	800円	90%	73%	無	—	新型コロナの影響に対応するためGoto事業加盟等を推進したが、滞在時間・観光消費の向上へ繋げることが出来なかった。	商工観光係	観光地利用者統計調査(長野県)【戦略】
4 池田町立美術館・あづみ野池田クラフトパークの年間利用者数	54,918人	15,446人	19,440人	53,600人	54,800人	56,000人	29%	28%	無	—	新型コロナウイルス感染拡大の影響(美術館入館者9,716人、クラフトパーク利用者9,724人:午前1回・午後1回の集計)	商工観光係	【戦略】
5 農家民宿等の新規開設軒数	4軒	延5軒	延5軒	延2軒	延3軒	3軒	100%	100%	無	—	新規開設0軒	商工観光係	5年間合計【戦略】
6 観光地利用者の延宿泊客数	2,700人	2,800人	2,300人	2,700人	2,800人	3,000人	100%	93%	無	—	新型コロナの影響により、観光利用者、宿泊者の減少が見られた。	商工観光係	5年間合計【戦略】
7 町内観光施設などにおけるWi-Fiの設置箇所数	13箇所	13箇所	13箇所	13箇所	13箇所	10カ所	100%	100%	無	—		企画係/商工観光係	【戦略】
8 年間訪日外国人旅行者数	600人	27人	30人	800人	900人	1,000人	4%	3%	無	—	新型コロナウイルス感染拡大の影響	商工観光係	—
9 訪日外国人旅行者年間観光消費額	126.4万円	60万円	70万円	200万円	225万円	270万円	35%	26%	無	—	新型コロナウイルス感染拡大の影響	商工観光係	—
10 民間及び町との連携によるイベント開催数	12行事	3行事	3行事	12行事	13行事	14行事(内スポーツ関係4行事)	25%	21%	無	—	新型コロナウイルス感染拡大の影響	商工観光係	—
11 ツアーバス対応可能な民間施設	6施設	6施設	6施設	7施設	8施設	9施設	100%	67%	無	—		商工観光係	—

3 取り組み結果、課題

・新型コロナウイルス感染拡大により、外出や観光の自粛など誘客については全体として低調傾向が続く、当町の観光資源を活かせる機会が少なく、大きな影響を受けた。

4 今後の方向性

当面、新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着くまで、現状を維持することを念頭に取り組むが、アフターコロナを見据えた観光事業も検討していきたい。

令和3年度 基本施策評価シート 4-5

施策分野	4 産業に係る施策	基本施策名	(5)6次産業化の推進
------	-----------	-------	-------------

R3目標達成度 平均	R5目標達成度 平均
80%	40%

1 令和3年度主要施策の取り組み内容、状況

(1)農業を基盤とした農産物の育成・創出

主な取り組み	対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1 ハーバルヘルスケアトレーナーによる任意団体「みちくさ」によるプログラムを実施した	①	11	農政係
2 地域おこし協力隊員が、過去に開発された特産品の改良に努めている	③	通年	商工観光係

2 成果指標状況

指標	R1年度	R2年度	①R3年度	②R3年度	R4年度	③R5年度	目標達成度(実績/目標)		R3予算削減		令和3年度実績値詳細	担当	備考
	実績値			目標値			①/②	①/③	有無	影響度			
1 ハーブセンターの利用者延数	19.4万人	16.9万人	15.1万人	22万人	24万人	25万人	69%	60%	無	—	新型コロナウイルス感染拡大の影響によりゴールデンウィークの時期を除き、各月とも更に利用者が減少した	観光商工係	【戦略】
2 ハーブの薬香に関するガイドブックなど周知資料の作成	0件	0件	0件	0件	0件	1件	評価なし	0%	無	—	R2に開設した花とハーブの里Facebookは、R3は493人が閲覧した。今後facebokの中でも紹介していきたい	農政係	5年間合計【戦略】
3 ワイン用ぶどうの栽培面積	26ha	延26ha	延27ha	延26ha	延31.2ha	41.4ha	100%	65%	無	—	鶴山5工区において栽培が開始された。	耕地林務係	5年間合計【戦略】
4 民間ワイナリー建設数	1カ所	延1カ所	延1カ所	延1カ所	延1カ所	2カ所	100%	50%	無	—	R元年度に民間企業が建設し、R2にオープンしたワイナリーでR2産ブドウで醸造したワインをR3に初めて販売した。	農政係	5年間合計
5 特産品の新規商品化数	1品目	延1品目	延1品目	延2品目	延3品目	4品目	50%	25%	無	—	研究を進めているが、製品化できていない。	商工観光係	5年間合計【戦略】

3 取り組み結果、課題

・ハーバルヘルスは、各種イベントに出展のほか、町民向けの普及活動の一環で公民館講座など活動を継続している。
 ・R2年度にオープンした民間ワイナリーで初めて原材料の栽培から加工まで全て“made in Ikeda”のワインが醸造され、R3年度に販売された。今後は、ワインの販路が課題となるが、様々な手法で池田町ワインをPRし、ブランド力を高め、町民にも池田町ワインを知ってもらい、地元にも愛される特産品として育てていく必要がある。
 ・ワイン以外では、特産品開発研究を進めていたが、R3年度末時点で製品化に至ったものは無かった。

4 今後の方向性

・ハーバルヘルスは、関係課等と連携し、観光客だけでなく町民向けのサービスを行ってきたい。
 ・ワイン用ぶどうのほ場は、東山山麓から西部の水田地帯へ広がり、若い新規就農者もあり、ワイナリー建設や農家民泊などの将来構想を持っている。農場の作業体験やワイナリー見学等、新たな誘客のコンテンツとして観光との連携が期待される。会染西部地区でワイン用ぶどうほ場整備(園芸エリア)が一段落することから、今後、大規模な栽培面積の拡大は厳しい状況であるが、日本ワインの需要動向を注視しながら進めていく必要がある。

施策分野	4 産業に係る施策	基本施策名	(6)雇用と労働
------	-----------	-------	----------

1 令和3年度主要施策の取り組み内容、状況

(1)人材育成、事業継承

主な取り組み		対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1	小学生を対象に町民講師による「土曜ふるさとクラブ」を実施することにより地域への愛着を持たせた(自然体験、美術、町探検等 計10種目)	①	小学生82名 保護者69名 参加	学校保育係
2	事業継続支援等に関する事業(池田町商工会委託)	②	通年	商工観光係
3	池工版デュアルシステム事業の実施(池田工業高校委託)	③④	通年	商工観光係
4	県の元気づくり支援金を活用し、学校・生徒・企業間の調整及び地域住民や地元各学校、県内企業との共同活動における連携業務を行うコーディネーター1名を池田工業高校に配置(2年目)	④⑤	通年	商工観光係
5	UIJターン支援事業の実施	⑥	申請者0件	商工観光係

2 成果指標状況

指標	R1年度	R2年度	①R3年度	②R3年度	R4年度	③R5年度	目標達成度(実績/目標)		R3予算削減		令和3年度実績値詳細	担当	備考
	実績値			目標値			①/②	①/③	有無	影響度			
1 将来希望する就業先が自宅から通える範囲内にあるという池田町在住の高校生の比率	-	-	-	-	-	30%	評価なし	評価なし	無	-	当該データは2015年の「人口ビジョン・総合戦略策定アンケート」を基にしている。次回は令和5年度に調査予定。	商工観光係	高校生アンケート結果【戦略】
2 町内就業者人数	53人	延88人	延129人	延160人	延217人	累計275人(年平均55人)	80%	47%	無	-	町内新入社員41名	商工観光係	【戦略】
3 各種研修の開催頻度	年6講座	年0講座	年0講座	年6講座	年6講座	年6講座	0%	0%	無	-	コロナウイルス感染拡大により開催中止	商工観光係	【戦略】
4 UIJターン就業・創業移住支援事業補助金交付	年0件	年1件	年0件	年1件	年1件	年1件	0%	0%	無	-	申請者0件	商工観光係	-

3 取り組み結果、課題

・商工会との協力により、地元産業支援を実施。新型コロナ拡大等の影響もあり、町内企業への就職率は低下している。
・ふるさと学習支援や池工版デュアルシステム事業により、地域の人材づくりや将来的な地元への定着を目指している。
・町内各学校と地域企業の連携強化による地元就職率向上のため、池田工業高校へコーディネーターを配置し、中信地区の企業に対する訪問等を実施したが、新型コロナ拡大の影響により、十分な活動が出来なかった。
・UIJターンに対する申請は0件であった。

4 今後の方向性

・商工会と連携し、地元企業の産業力支援や、対外的なPRを実施していく。
・地域連携コーディネーターの活動を拡大し推進していく。
・テレワークが可能な施設の検討を進める(シェアベースにぎわい等)
・UIJターン事業補助金制度が改正されたことにより補助金交付対象要件が緩和されたため、制度利用の対外的PRを更に進めたい。

令和3年度 基本施策評価シート 5-1

施策分野	5 福祉と人権に係る施策	基本施策名	(1)住民福祉の向上
------	--------------	-------	------------

R3目標達成度 平均	R5目標達成度 平均
100%	93%

1 令和3年度主要施策の取り組み内容、状況

(1)地域福祉の充実・共通 施策

主な取り組み	対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1 地区公民館単位での「のびのびゴム体操」の普及	①	22箇所	地域包括支援センター
2 在宅介護者給付金申請での健診結果提出介護者の重症化予防を図る	②	65件	地域包括支援センター
3 地区健康相談、保健補導員主催等の健康教室で血圧測定やミニ学習会を実施。新型コロナウイルス感染症予防のため実施回数は減少した。	②	13回 延219人	健康増進係
4 成年後見無料相談会の開催。成年後見制度の周知と個別支援。	③	12回	地域包括支援センター
5 成年後見制度利用支援事業の助成により、被後見人の経済的負担の軽減を図る	③	2名	地域包括支援センター
6 成年後見制度が必要な人への支援。首長申立。	③	3件	地域包括支援センター
7 「福祉の総合相談窓口」として、福祉的な相談支援を行った。	④⑤⑥	延7,442件	多世代相談センター
8 やすらぎの郷館内(トイレ、カウンター等)に自殺予防の相談窓口パンフレットを設置した。	⑥	10ヶ所	多世代相談センター
9 原油価格高騰により、高齢者世帯、障害者のいる世帯、母子父子世帯等に灯油購入助成を行った。	⑤	438世帯	福祉係

(2)高齢者福祉の充実

主な取り組み	対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1 各種体操教室(介護予防事業)年間:8コース実施。年間1～2回の体力測定や血圧測定に合わせ、ミニ学習会などを実施した。	①	291回 延4,220人	健康増進係
2 生活支援体制整備事業の協議体検討結果により、池田町社会福祉協議会での介護予防・日常生活支援総合事業訪問型D事業サービスへの補助金交付。	①	8名 延82回	地域包括支援センター
3 介護予防・日常生活支援総合事業C型サービス実施により、介護予防プログラムを実施。精神面へのフォローによるカウンセリング事業の実施。	①	19名延176回 /1名延5回	地域包括支援センター
4 家族介護者の会の開催。	①	2回	地域包括支援センター
5 地域包括ネットワーク体制づくりへの取り組みとして、地域住民の支援も借りながら実施していく地域での集いの場や取り組み事例。支え合い・助け合い活動の周知と住民主体の活動を活発化するため、各地区への出前講座の開催。	①	5例・ 5回	地域包括支援センター
6 在宅医療介護連携支援センターで作成した、救急医療情報キットの配布。	①	70名配布	地域包括支援センター
7 認知症啓発事業として、映画上映会の開催。	①	2回84名	地域包括支援センター
8 国保の被保険者を対象に、はつらつ健康スタンプで健康づくりの取組意欲の向上につながるよう実施	①	88名	健康増進係

(3)障害者福祉の充実

主な取り組み	対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1 障害福祉サービスの支給決定を行った。	①	337件	福祉係
2 「福祉の総合相談窓口」として、福祉的な相談支援を行った。	④	延7,442件	多世代相談センター

2 成果指標状況

指標	R1年度	R2年度	①R3年度	②R3年度	R4年度	③R5年度	目標達成度(実績/目標)		R3予算削減		令和3年度実績値詳細	担当	備考
	実績値			目標値			①/②	①/③	有無	影響度			
1 認知症サポーター数	946人	延1,103人	延1,443人	延1,250人	延1,400人	1,500人	100%	74%	無	—	認知症サポーター養成講座の開催実績値(8回 340名)	地域包括支援センター	100人/年
2 高齢者介護・福祉サービス事業新規開業件数	0件	1件	延2件	延1件	延1件	1件	100%	100%	無	—	居宅介護支援事業所こうしゅう池田 R3.6.16開所	地域包括支援センター	5年間合計 【戦略】
3 「まいさば」のサービス利用者数	年13件	年24件	年15件	年15件以上	年15件以上	年15件以上	100%	100%	無	—	新型コロナウイルス感染拡大を受けて行った総合支援資金の貸付のため、利用者数が増加している。 その他、生活困窮、仕事探し、住まい探し等相談があった場合は、速やかに繋げた。	多世代相談センター	【戦略】
4 地域生活への移行者数	2件	延12件	延12件	延1件	延1件	1件	100%	100%	無	—	精神科入院中の親族支援やサービス調整、また、退院カンファレンスへの参加や退院後の定期的な訪問等を行った。	多世代相談センター	5年間合計

3 取り組み結果、課題

1(2)1 介護予防事業として近隣のプールを借用して教室を開催しているが、コロナ禍で施設利用ができず、実施回数等が減少したことで筋力低下の傾向がみられた。体力の維持向上のため、代替の教室を検討する必要がある。

・アクアエクササイズ教室参加者の体力測定結果(平均値)

松香荘前期 筋肉量:35.6kg(-0.8kg)、握力右24.0kg(-0.5kg)・左21.9kg(-1.9kg)

松香荘後期 筋肉量:35.9kg(+0.1kg)、握力右24.3kg(+0.7kg)・左22.5kg(+1.1kg)

大町スイミング 筋肉量34.4kg(-0.7kg)、握力右21.4kg(-0.9kg)・左21.1kg(-1.2kg)

・からだを動かす教室、いきいきクラブについては、コロナの感染拡大防止のため教室閉鎖により計測未実施。

2-1 認知症サポーター養成講座は小中学校で人権学習の授業として講座開催ができ、サポーター数は年目標を超えることができた。子どもたちより認知症の人が困っていたら優しく声をかける等しようと前向きな感想が多く出た。子どもが講座受講した家庭の祖父母からは、孫が優しく接してくれるようになったという声が届いた。

2-2 居宅介護支援事業所が一件開所となり、在宅介護者を支援する事業所の社会資源が増えた。

2-3,4 多世代相談センターとの連携により、総合的な相談に対応できる体制になった。複雑化する相談内容が増加する中、限られた職員数でいかに効率的な支援を行うかが課題である。

4 今後の方向性

2-1 認知症サポーター養成講座は、小中学校での授業としての講座開催を定着させる。また、今までの理解して見守りをするだけのサポーターではなく、実際に支えるサポーターの養成にしていけることが必要。

2-2 現在の事業所が事業継続できるように、様々な面での支援を継続していく。

2-3,4 多世代相談センターは、より専門的な相談に載るためのスタッフ研修実施や相談業務ではニーズを把握し、アセスメント、課題、支援方針を作成し、困りごとが終結できる取組をしていく。

令和3年度 基本施策評価シート 5-2

施策分野	5 福祉と人権に係る施策	基本施策名	(2) 保健予防・医療の充実
------	--------------	-------	----------------

R3目標達成度 平均	R5目標達成度 平均
91%	89%

1 令和3年度主要施策の取り組み内容、状況

(1)健康づくりの取り組み

主な取り組み	対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1 乳幼児健診・育児学習会・離乳食教室時に各月齢に合わせて、子どもノート(資料集)を見ながら生活リズムや運動、食について集団学習を実施。	①②	59回 延べ387人	健康増進係 多世代相談センター
2 小児生活習慣病予防健診後の健康相談を小学校は懇談会に合わせて実施し、来所されなかった家庭(9件)には健診結果の見方やアドバイスを添えて担任より渡していただいた。中学校については、血糖値が高かった生徒や家族を対象に健康相談を実施(24人中18人実施)	①②	11日間 71人來所	健康増進係
3 健康長寿食育推進協議会の開催。食育条例の策定とともに第2次食育推進計画策定及び健康づくりに関する施策を検討。	②	3回	健康増進係
4 健康長寿を目指すため、75～76歳の方にも長寿健診のご案内を送付。 健診受診率:R3年度24.9%になった。(参考:令和2年度23.7%)	①②	1回	健康増進係
5 コロナワクチン予防接種の円滑な実施 対象者数 9,690人 (接種人数、接種率:1回目8,262人 85.3% 2回目8,212人 84.7%)	③	延べ16,474人	健康増進係
6 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、総合福祉センター内の不特定多数が素手で触れる機会の多い手洗い、流し台の手動水栓を自動水栓に交換した。	③	19カ所	福祉係
7 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、集団接種会場となる保健センターの空調設備修繕を行い、予防接種業務を迅速に遂行した。	③	2カ所	健康増進係
8 新型コロナウイルス感染予防対策として消毒用アルコールを購入し、町関連施設及び医療福祉介護関連施設等に配布・備蓄をした。	③	184缶	健康増進係

(2)地域医療の充実

主な取り組み	対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1 池田町医師連絡懇談会の開催	①	1回	健康増進係

2 成果指標状況

指標	R1年度	R2年度	①R3年度	②R3年度	R4年度	③R5年度	目標達成度(実績/目標)		R3予算削減		令和3年度実績値詳細	担当	備考
	実績値			目標値			①/②	①/③	有無	影響度			
1 健康をテーマにした各種講習・講座の新規立ち上げ件数	1件	延1件	延1件	延1件	延1件	1件	100%	100%	無	—		健康増進係	5年間合計【戦略】
2 ヤング健診受診率(国民健康保険課加入の20歳～39歳)	20.4%	24.2%	21.6%	26%	28%	30%	83%	81%	無	—	20～39歳の国保被保険者全員に健診の受診票等を郵送し、185人中40人受診。	健康増進係	—
3 特定健診受診率	66.7%	69.0%	69.0%	67%	67.5%	68%	100%	100%	無	—	健診対象者1,695人中1,169人受診。(6月17日現在)令和3年度の受診率は令和4年10月末に確定のため概算値であるが、目標値を達成している。	健康増進係	—
4 特定健診による重症化予防対象者の割合	33.6%	33.5%	30.8%	26%	25%	25%	86%	77%	無	—	令和2年と比較して、全体的に重症化予防対象者は減少しているが、メタボリックシンドローム該当者(腹囲のほかに高血圧などの動脈硬化のリスクが2つ以上ある人)の割合はほぼ横ばいであった。(R2:20.3% R3:19.7%)	健康増進係	—
5 80万円以上のレセプトに占める循環器疾患の割合	14.5%	19.9%	27.1%	32%	31%	30%	100%	100%	無	—	心疾患や脳血管疾患等により毎月80万円以上の医療費が継続的にかかったことで、令和2年度より割合が高くなっているが、計画策定時の2017年34.09%より循環器疾患に占める割合は下がっている。	健康増進係	—
6 2号被保険者要介護認定率	0.2%	0.3%	0.25%	0.2%	0.2%	0.20%	75%	75%	無	—	KDBシステムより2号認定者数は8名。うち、新規は2名でいずれも脳出血が原因で認定となったが、1名は国保外のため詳細は把握できなかった。 認定率は、人口が同規模の町村は0.36%、県は0.27%で、県並みであった。	健康増進係	—
7 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事(朝食)をほぼ毎日食べている人の割合(16歳～29歳)	—	—	50.0%	55%	—	55%(食育推進計画最終年度である2021年度時点)	91%	91%	無	—	令和3年度のアンケート結果では、どの年代も主食・主菜・副菜の揃った朝食を摂っている人の割合は減少している。しかしながら、食品群(たんばく源、ビタミン・ミネラル減、エネルギー源)でみた場合は改善している世代もあった。 乳幼児健診では、子どもの成長に必要な食について学習する中で保護者へも啓発している。	健康増進係	アンケート結果

3 取り組み結果、課題

・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地区での健康教室や健康づくり・介護予防講演会が中止となったため啓発活動が十分にできなかった。 ・食育アンケート結果では朝食の欠食や主食・主菜・副菜の揃った食事を摂っている人の割合が減少したことから、食育レシピ集を作成し町ホームページに掲載した。 ・特定健診が始まって以来、最高の健診受診率となり、厚生労働大臣よりメッセージをいただいた。 ・予防可能な循環器疾患の基礎疾患には高血圧や糖尿病、肥満などがあることから、特に内臓肥満から起こる動脈硬化を予防するため、生活習慣の改善、健診や医療機関未受診(治療中断)者の重症化予防が課題である。 ・健康課題である脳血管疾患等の発症や重症化を予防するため、全町民(希望者)を対象に尿中推定塩分摂取量検査を実施した。(3月121人)

4 今後の方向性

・生活習慣病の発症及び重症化を予防するため、健診受診率の向上に努め、訪問活動や健康相談を実施する。 ・食育レシピ集等の資料を活用し、バランスよく食べることを地区の健康教室等で啓発する。 ・住民の健康づくりを支援するため、毎月減塩の日(17日)に合わせ、尿中推定塩分摂取量検査を希望者に実施する。

施策分野	5 福祉と人権に係る施策	基本施策名	(3)人権の尊重・男女共同参画の推進
------	--------------	-------	--------------------

R3目標達成度 平均	R5目標達成度 平均
67%	67%

1 令和3年度主要施策の取り組み内容、状況

(1)男女共同参画推進も含めた人権教育の取り組み

主な取り組み		対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1	大北地域の企業人権講演会に町内事業所(3事業所)が参加	①	3事業所	生涯学習係
2	人権に関連する公民館講座の開催(5回開催、延べ124人)	②	5回	生涯学習係
3	広報記事の掲載(7回)など男女共同参画の啓発実施	②	19回	生涯学習係

2 成果指標状況

指標		R1年度	R2年度	①R3年度	②R3年度	R4年度	③R5年度	目標達成度(実績/目標)		R3予算削減		令和3年度実績値詳細	担当	備考
		実績値			目標値			①/②	①/③	有無	影響度			
1	町人権教育推進協議会開催	年1回	年0回	年0回	年1回	年1回	年1回	0%	0%	無	—	コロナの影響で講演会・協議会は中止	生涯学習係	—
2	人権関連事業・講座開催数	年5回	年7回	年5回	年5回	年5回	年5回	100%	100%	有	無	関連講座実施4、男女共同参画映画上映会1	生涯学習係	—
3	池田町男女共同参画まちづくり推進協議会による推進活動	年10回	年12回	年19回	年10回	年10回	年10回	100%	100%	有	無	小中学校授業参観1、図書館での啓発図書紹介1、広報記事掲載7、女性会議等オンラインイベント参加8、映画上映会1、小中学校での啓発ポスター掲示1	生涯学習係	—

3 取り組み結果、課題

・様々な人権課題を公民館講座等で取り入れ参加者への啓発を行った。人権に関わる課題は多岐にわたり、短期間で浸透させるのは難しいため継続し、多くの方へ伝えていくことが必要。

4 今後の方向性

・関連講座の開催など啓発活動を進めていく。
・各種委員会等の女性の登用割合の向上を目指していく。

令和3年度 基本施策評価シート 6-1

施策分野	6 消防・防災・防犯、行政運営に係る施策	基本施策名	(1)消防・防災・防犯体制の整備
------	----------------------	-------	------------------

1 令和3年度主要施策の取り組み内容、状況

R3目標達成度 平均	R5目標達成度 平均
 71%	 42%

(1)消防設備の充実、消防力の強化

主な取り組み	対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1 消火栓の取替工事	①	4基	危機管理 対策室
2 消防団備品購入等	①	—	危機管理 対策室
3 消防団員確保の広報活動(HP、広報誌の活用)	②	随時	危機管理 対策室

(2)防災設備の充実、防災力の向上

主な取り組み	対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1 避難所運営訓練・千本木台・半在家地区自主避難計画の訓練(コロナ感染防止のため延期)	①④⑦⑧	0回	危機管理 対策室
2 池田町防災会議の開催、災害協定の締結	⑧	1回、5社	危機管理 対策室
3 避難所の開設、運営、各種計画の更新、見直し	③	多目的研 修センター	危機管理 対策室
4 災害備蓄品等の購入、整備、指定避難所への分散配置(パーテーション、エアベッド)	③	一式	危機管理 対策室
5 木造住宅耐震診断(精密診断)	⑩	一般住宅1 件	建設係
6 ブロック塀等除却事業	⑪	0件	危機管理 対策室・建 設係
7 ハザードマップの更新	⑥	1回	危機管理 対策室
8 耐震改修工事補助金	⑩	1件	建設係
9 空家解体撤去事業補助金交付実績	⑨	4件	移住定住 係

(3)防犯対策の強化

主な取り組み	対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1 防犯灯の更新(LED化)	②	52基	環境係
2 青色防犯パトロール車による町内の見回り実施	③	108回	環境係
3 防災行政無線等による特殊詐欺被害防止等の啓発活動	④	随時	環境係

2 成果指標状況

指標	R1年度	R2年度	①R3年度	②R3年度	R4年度	③R5年度	目標達成度(実績/目標)		R3予算削減		令和3年度実績値詳細	担当	備考
	実績値			目標値			①/②	①/③	有無	影響度			
1 町消防団員定数確保	確保	確保	未確保	確保	確保	確保	 99%	 99%	無	—	定数230名に対し、228名の団員を確保。	危機管理 対策室	—
2 指定避難所などへの誘導標識設置	3カ所	延3カ所	延13箇所	延30カ所	延40カ所	47カ所	 43%	 28%	無	—	中電柱に設置する避難所案内は民間業者による設置であり、スポンサー料が必要なため、計画的な設置は困難。その他箇所のケースは町で設置する案件であり、早期設置については予算確保が難しい状況。	危機管理 対策室	指定緊急 避難場所、 指定避難 所の計
3 消防車両の更新(ポンプ車)	0台	0台	0台	0台	2台	2台	評価なし	0%	無	—		危機管理 対策室	—

3 取り組み結果、課題

・消防団員の定数は確保できず、団員の平均年齢は上がる一方である。新入団員の減少が影響し、特定の団員に負担がかかっている状況である。
・町民への防災意識啓発向上は自主防災会の協力のもと、訓練等を粘り強く重ねていくことが重要。
・新型コロナウイルス感染症対策のため、町民大会、防犯組合定期大会が中止となったが、防犯組合支部長への資料配布等や青色防犯パトロール車でのパトロールなどの防犯活動を行い、犯罪抑止に取り組んでいる。

4 今後の方向性

・消防団新入団員の確保は自治会との連携で推進していく。
・自主防災会長と自治会長を兼務している地区が多いので、それぞれ選任し、防災会長は複数年勤めていただくよう推進する。
・避難所案内は町でも徐々に設置する予定。
・引き続き、青色防犯パトロール車によるパトロールの実施と防犯灯の整備を推進する。

施策分野	6 消防・防災・防犯、行政運営に係る施策	基本施策名	(2)開かれた町政と協働のまちづくり
------	----------------------	-------	--------------------

R3目標達成度 平均	R5目標達成度 平均
70%	68%

1 令和3年度主要施策の取り組み内容、状況

(1)自治会活動活性化

主な取り組み		対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1	自治会協議会開催による情報共有、課題解決への検討。自治会活動交付金などの支援	①	4回	企画係
2	元気なまちづくり事業補助を、7自治会、2団体に交付	②	7自治会・2 団体	企画係

(2)情報公開、広聴の取り組み

主な取り組み		対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1	総合計画、総合戦略など重要な計画の検証結果を公表	①	1回	企画係
2	まちづくり懇談会(3回)	②	3回	総務係
3	Twitter、Facebook、Youtubeで情報発信	①	3サイト	総務係

(3)多文化共生・ユニバーサルデザインの推進

主な取り組み		対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1	公民館での多文化共生講座の開催(みのり塾)	①	0	生涯学習係

2 成果指標状況

指標		R1年度	R2年度	①R3年度	②R3年度	R4年度	③R5年度	目標達成度(実績/目標)		R3予算削減		令和3年度実績値詳細	担当	備考
		実績値			目標値			①/②	①/③	有無	影響度			
1	町民向けメール登録数	1,600件	延1,886件	延2,065件	延1,400件	延1,450件	1,500件	100%	100%	無	—	登録者数は、前年と比べ179件(9.49%)増加した。 情報配信は、113回(概ね月9回)	総務係	—
2	元気なまちづくり事業実施数	12件	11件	9件	23件	24件	年間25件	39%	36%	有	有(小)	まちづくり事業:ヤギを活用した棚田景観保全プロジェクト等2団体(新規凍結) 資材支給事業:道路や水路の整備など7自治会	企画係	—

3 取り組み結果、課題

・自治会に加入しない世帯、高齢化等で役員就任が困難になるなどの理由で脱退する世帯が増えている。また、生産年齢層では勤務や生活の形態が多様化し、自治会活動への参画が難しい世帯が多い。 ・町民向けメールに関して登録数目標の件数を達成している。 ・令和2年度からTwitter、Facebook、Youtubeでの情報発信を開始したが、イベント中止等の影響もあり発信も少なく、フォロワーも少ない。

4 今後の方向性

・自治会役員高齢化、加入者減など様々な課題に町民と共に取り組んでいく。 ・歳出予算削減の一環で元気なまちづくり事業のうち、新規ソフト事業が少なくとも令和5年度まで凍結となるが、資材支給事業の活用を促進することで、協働のまちづくりの推進を図っていく。 ・情報提供において、広報・HP・メールによる現在の周知方法をさらに検討し、いかに町民に分かりやすく伝えられるように取り組んでいく。特にSNSの活用についての検討を図っていく。
--

令和3年度 基本施策評価シート 6-3

施策分野	6 消防・防災・防犯、行政運営に係る施策	基本施策名	(3) 財政の健全化
------	----------------------	-------	------------

R3目標達成度 平均	R5目標達成度 平均
96%	96%

1 令和3年度主要施策の取り組み内容、状況

(1) 計画的で健全な財政運営

主な取り組み	対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1 令和8年度までの財政シミュレーションを作成し公表した。	①	1	財政係
2 実施計画の策定により計画的な行政運営を行った。(3年間のローリング)	②	1	企画係
3 行財政改革推進委員会を設立し行財政改革案を諮問。第一次及び第二次答申を受けた。	③	17	企画係
4 退職者(8人)不補充により、令和4年度予算の削減を図った。	③	-	各担当係
5 新地方公会計制度導入による財政の検証を行った。	③	1	財政係
6 町債の発行抑制に努めた。	③	随時	財政係
7 減債基金および公共施設等整備基金を積み増し、将来に備えた。	③	-	財政係

(2) 自主財源の確保

主な取り組み	対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1 ふるさと納税について、さらなる町の魅力発信と自主財源の確保を図るため、従来の管理会社の「さとふる」に加え、新たに「結デザイン」を令和3年5月に加え在庫不足等の課題解決を図った。更に従来のポータルサイト「さとふる」「楽天」「さとふる」に加え、令和3年6月から「ふるなび」「さとふるプレミアム」「さとふる本舗」「ANA」を順次加え7社体制とした。 また返礼品供給事業者、お礼品の拡充に注力し、新たに10事業者、返礼品も定期便を中心に200品目ほど新規登録を行った。体制の大幅な見直しと、事業者やお礼品の拡充、返礼品の訴求力向上に力を入れた。	①	7サイト	企画係
2 車両更新により不要となった町営バス1台をオークションにより売却した。(23.5万円)	②	1	財政係
3 滞納整理機構による大口困難案件の徴収業務を実施した。	④	随時	収納係

(3) 公共施設マネジメントの推進

主な取り組み	対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1 公共施設総合管理計画の更新をした。	①	1	企画係

2 成果指標状況

指標	R1年度	R2年度	①R3年度	②R3年度	R4年度	③R5年度	目標達成度(実績/目標)		R3予算削減		令和3年度実績値詳細	担当	備考
	実績値			目標値			①/②	①/③	有無	影響度			
1 一般・特別会計の地方債残高(臨時財政対策債を除く)	一般31億円 特別45億円 計76億円	一般32億円 特別43億円 計75億円	一般30億円 特別39億円 計69億円	一般34億円以下 特別37億円以下 計71億円以下	一般35億円以下 特別34億円以下 計69億円以下	一般35億円以下 特別30億円以下 計65億円以下	100%	94%	有	有(小)	令和3年度の一般会計における地方債発行額は1億5,440万円で、2年度の発行額5億1,410万円に対し約70%減少した。	財政係	-
2 財政調整基金繰入額	2億4,910万円	0円	0円	1億円未満	1億円未満	各年度1億円未満	100%	100%	有	有(小)	当初予算は平成22年度以来11年ぶりに計上せず、決算も令和2年度に続き繰り入れせずに済んだ。	財政係	-
3 経常収支比率	91.5%	89.4%	81.7%	85%以下	85%以下	85%以下	100%	100%	有	有(大)	普通交付税再算定による大幅増や、予算3億円削減プロジェクト実施による経費削減等により、令和2年度より7.7ポイント下がった。	財政係	-
4 実質赤字比率、連結実質赤字比率	数値なし	数値なし	数値なし	数値が発生しないこと	数値が発生しないこと	数値が発生しないこと	100%	100%	無	-	普通会計における令和3年度の実質収支は5,792万円の黒字で、実質赤字比率はない。全会計における令和3年度の実質収支の合計額は9億4,586万円の黒字で、連結実質赤字比率もない。	財政係	-
5 実質公債費比率	11.8%	12.1%	12.6%	15%以下	15%以下	15%以下	100%	100%	無	-	単年度の実質公債費比率は、令和元年度=14.04%、令和2年度=12.60%、令和3年度=11.18%	財政係	-
6 将来負担比率	数値なし	数値なし	数値なし	数値が発生しないこと	数値が発生しないこと	数値が発生しないこと	100%	100%	無	-	令和3年度末の将来負担額よりも充当可能財源等の方が18億7,926万円多いため、将来負担比率はない。	財政係	-
7 ふるさと納税年間寄付金額	6,254万円	7,246万円	1億1,369万円	2,200万円	2,200万円	2,200万円	100%	100%	無	-	令和3年度にふるさと納税のポータルサイトを3から7カ所に増やし、管理会社を1から2社に増やしたこと等から、寄付額増加につながっている。	企画係	ふるさと納税年間寄付金額平均
8 町税収納率(現年度分)	99.14%	99.13%	99.17%	98.91%	98.95%	99%	100%	100%	無	-	滞納者への厳格な対応を行ったため。	収納係	-
9 町税収納率(滞納繰越分)	32.24%	39.07%	26.54%	39.00%	39.50%	40%	68%	66%	無	-	令和2年度は複数の大口滞納者の納付があり収納率が向上したが、3年度は新型コロナウイルスによる経済的影響や滞納整理機構差押分の配当がなかった等で伸び悩んだ。	収納係	-

3 取り組み結果、課題

【財政全体】普通交付税の増や予算3億円削減プロジェクト実施等により、経常収支比率は目標値を下回ったが、引き続き財政状況改善に向けて取り組む必要がある。
【実施計画】厳しい財政状況ではあるが、基本計画の目標達成に向けて漏れなくかつ優先順位を見極めながら、実現可能な計画とする必要がある。
【ふるさと納税】更なる寄付額増の検討。
【行財政改革推進委員会】経常経費の削減案などの答申を受けたが、厳しいものが多くどこまで実現できるか検討していく必要がある。

4 今後の方向性

- ・公債費を抑えるため、地方債の発行額は臨財債を合わせて年3億円以内を基本とする。
- ・町有財産の売却・活用等により、自主財源確保に引き続き努める。
- ・返礼品充実やポータルサイトの見直し等により、ふるさと納税の収入増を図る。
- ・財政状況の改善に向け、引き続き行財政改革推進委員会の答申等を参考に、公共施設の見直し等に取り組んでいく。
- ・財政シミュレーションを要所で随時見直し、公表していく。
- ・公共施設個別計画の住民への十分な周知及び検討が必要な施設についての協議を引き続き進めていく。

施策分野	6 消防・防災・防犯、行政運営に係る施策	基本施策名	(4) 行政の効率化・地域情報化の推進
------	----------------------	-------	---------------------

R3目標達成度 平均	R5目標達成度 平均
98%	95%

1 令和3年度主要施策の取り組み内容、状況

(1)行政運営

主な取り組み		対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1	各部署の職務の状況を勘案した職員配置をしている。	①	3回(人事異動)	総務係
2	一般研修、市町村職員研修センター研修等延べ18回135人受講。	②	18回	総務係
3	指定管理者による施設管理、運営による効率的で効果的な事業展開(ハーブセンター、美術館、にぎわい、高齢者支え合い施設14)	⑤	17施設	企画係

(2)地域情報化の推進

主な取り組み		対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1	広津陸郷地区光ケーブルの維持管理	①	通年	企画係
2	庁舎、美術館、創造館、交流センター、シェアベースにぎわい、観光協会のWiFi環境運営。ハーブセンターでは指定管理者により運営。	①	通年	企画係

2 成果指標状況

指標		R1年度	R2年度	①R3年度	②R3年度	R4年度	③R5年度	目標達成度(実績/目標)		R3予算削減		令和3年度実績値詳細	担当	備考
		実績値			目標値			①/②	①/③	有無	影響度			
1	職員数	100人	106人	102人	100人	98人	97人	98%	95%	有	有(小)	R3.4.1現在職員数102人	総務係	定員管理計画に基づく人数
2	住民へのアンケート調査による職員対応に対する満足度	-	-	-	-	-	80%以上	評価なし	評価なし	無	-	当該アンケートは令和5年度に実施予定。	総務係	-

3 取り組み結果、課題

【職員数】各部署の職務の状況や、休業等による職員を考慮し、増加傾向にあったが、職員の不補充と退職者の増加により、昨年より4人減となった。
【職員資質】職員研修は、新型コロナウイルス感染防止のため、集合型は回数を増やし密集を避け、オンラインでできる研修も実施し工夫した。

4 今後の方向性

・職員体制については、定員管理計画の職員数を勘案し、職員配置人数や事務分掌を検討しつつ、効果的な体制を検討していく。
・よりよい住民サービスや適切な事務のため、予算で可能な研修を実施する。

施策分野	6 消防・防災・防犯、行政運営に係る施策	基本施策名	(5) 行政の広域化
------	----------------------	-------	------------

R3目標達成度 平均	R5目標達成度 平均
100%	100%

1 令和3年度主要施策の取り組み内容、状況

(1) 広域連携、共同的な事務処理

主な取り組み		対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1	大町市、北安曇郡町村内で広域計画に基づき、多分野において広域行政を遂行	①	通年	企画係
2	大北管内での情報システム共同処理の運用	②	通年	企画係

2 成果指標状況

指標		R1年度	R2年度	①R3年度	②R3年度	R4年度	③R5年度	目標達成度(実績/目標)		R3予算削減		令和3年度実績値詳細	担当	備考
		実績値			目標値			①/②	①/③	有無	影響度			
1	広域連携で取り組む事業分野数	年9分野	年11分野	年11分野	年11分野	年11分野	11分野	100%	100%	無	－	北アルプス連携自立圏の令和3年度の取組(1若者交流・結婚支援、2子育て支援、3移住交流、4広域観光、5就労支援、6福祉、7医療・保健、8圏域マネジメント能力の強化、9公共施設の利用促進、10地域を支える人材の育成・確保、11自然と暮らしの調和)	企画係	【戦略】

3 取り組み結果、課題

【取組結果】
・北アルプス連携自立圏事業では、地域の課題解決に向け11分野にわたる取り組みを行い、主に若者交流、移住交流など効果的な事業展開が図れた。
【課題】
・北アルプス連携自立圏事業で人口(負担金)の割に当町の受益者の割合がゼロに近い事業がいくつかある(病児保育運営事業、認知症初期集中支援チーム運営事業、在宅医療・介護連携支援センター運営事業)。当町の受益者を増やすことや、対象事業の見直しが必要。
・穂高広域施設組合のし尿処理センターが「松本糸魚川連絡道路」により建て替えが必要となり、新たな費用負担が発生する見込み(環境係)

4 今後の方向性

・池田松川施設組合で管理している火葬場の老朽化に伴い、今後の運営体制について検討する必要がある。
・北アルプス連携自立圏事業に係る県交付金の交付対象事業の見直しに伴い、新たに若者交流・結婚支援事業と移住定住を促す関係人口創出事業に取り組む
・共同処理している事務を構成団体でも実施する、いわゆる二重行政とならないよう引き続き努める。